

教育研究活動の状況

(平成 30 年度)

奈良学園大学

1. 大学の教育研究上の目的に関すること

学部	学科	教育研究上の目的
人間教育学部	人間教育学科	「社会の中で一人の人間」として生き抜く力となる豊かな「人間力」を基盤とする、柔軟な「教育力」と高度な「実践力」を備えた「教育者」(広く社会の教育活動にかかわる人材)の養成を目的とする。
保健医療学部	看護学科	幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力などをそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保健医療職者の育成を目的とする。
大学院 看護学研究科	看護学専攻	教育理念に基づき、在宅看護、育成看護、精神看護分野における専門性を深め、国内外で活躍することができる高度な看護実践者と看護の各分野における実践的教育の担い手及び研究者を育成することを目的とする。

2. 教育研究上の基本組織に関すること

平成30年5月1日現在

単位：(人)

学部・学科		専任教員数					
		教授	准教授	講師	助教	助手	計
人間教育学部	人間教育学科	17	9	11	0	0	37
保健医療学部	看護学科	11	6	6	8	7	38
合計		28	15	17	8	7	75

大学院		専任教員数(兼担も含む)					
		教授	准教授	講師	助教	助手	計
看護学研究科	看護学専攻	9	5	0	1	0	15
合計		9	5	0	1	0	15

3. 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

※教育研究業績書は別紙

＜教員の保有学位及び業績＞平成30年5月1日現在

人間教育学部 博士11名、修士16名、学士10名

保健医療学部 博士8名、修士25名、学士4名、その他1名

＜教員の年齢構成＞

専任教員の学部ごとの年齢別の構成

平成30年5月1日現在

大学院の教員は学部を含む

【人間教育学部】		71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	35歳未満	計
人間教育学部	教授 (人)	1	3	6	3	2	1				16
	准教授 (人)		1	1			2	4	1	1	10
	講師 (人)			1	1	1		2	4	2	11
	助教 (人)										0
	助手 (人)										0
計 (人)		1	4	8	4	3	3	6	5	3	37

【保健医療学部】		71歳以上	66歳～70歳	61歳～65歳	56歳～60歳	51歳～55歳	46歳～50歳	41歳～45歳	36歳～40歳	35歳未満	計
保健医療学部	教授 (人)	1	2	1	3	3		1			11
	准教授 (人)				1	2		3			6
	講師 (人)					2	3	1			6
	助教 (人)					1	4	1	1	1	8
	助手 (人)			2	1		3	1			7
計 (人)		1	2	3	5	8	10	7	1	1	38

4. 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

大学等	学部・研究科等	入学者数 (H30)	収容定員	在学者数 (H30)	卒業者数 (H29)	進学者数 (H29)
奈良学園大学	人間教育学部	【入学に関する基本的な方針】 (1) 教職への意欲や関心があり、教育を通して社会の未来に貢献する意欲のある人 (2) 教育の専門家としての確かな力量を獲得するため、積極的に学び続ける意欲のある人 (3) 豊かな人間性や社会性、常識と教養をはじめ協調性や創造性を深める意欲がある人				
		135 人	510 人	482 人	97 人	1 人
	保健医療学部	【入学に関する基本的な方針】 (1) 人と自然を愛する心を持ち、看護職に興味・関心のある人。また、確かな基礎的学力を有し、看護職者に必要な知識・技術を積極的に学び、地域社会、国際社会に貢献する意欲のある人				
		87 人	320 人	350 人	66 人	1 人
	大学院看護学 研究科 (平成 30 年 4 月開設)	【入学に関する基本的な方針】 (1) 学修目標を明確にして主体的に学ぶことができる人 (2) ヒューマンケアを提供する看護職としての資質を有している人 (3) 国際的視野に立ち、柔軟な発想と論理的思考で課題を探究する姿勢をもっている人				
		6 人	16 人	6 人	—	—
	ビジネス学部 (H26 年募集停止)	—	—	—	4 人	—
	情報学部 (H26 年募集停止)	—	—	—	1 人	—
【就職者数及び卒業後の進路（主な就職分野〔具体的な就職先等〕）】 就職者数： 159 人 【主な就職分野】 教育、医療、サービス、製造、小売・卸売、建設、情報通信、運輸、金融、公務 【主な就職先】 人間教育学部：大阪市教育局、大阪府教育委員会、奈良県教育委員会、東京都教育委員会、高知県教育委員会、愛知県教育委員会、千葉県教育委員会、埼玉県教育委員会、沖縄県教育委員会、大建工業株式会社、トヨタカローラ南海株式会社、東海東京フィナンシャルホールディングス株式会社、株式会社関西アーバン銀行、住友不動産販売株式会社、九州旅客鉄道株式会社、総合警備保障株式会社、自衛隊、大阪府警察本部、京丹後市 他 保健医療学部：大阪府立病院機構、奈良県立病院機構、近畿大学医学部奈良病院、奈良市立奈良病院、東大阪市立東大阪医療センター、堺市立総合医療センター、兵庫医科大学病院、大阪労災病院 他						

※編入学定員を設けていないが、若干名の受け入れを行っている

※情報学部は平成 29 年 9 月で廃止、ビジネス学部は平成 30 年 6 月で廃止

5. 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

- 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画の概要は、シラバス及び履修の手引きを参照
- 人間教育学部履修モデル

履修モデル① 幼稚園教諭一種免許状を取得する履修モデル(案)																				
履修年次		1年次				2年次				3年次				4年次		計				
区分		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名		科目名								
共通教育科目	基礎教養科目	前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期				
		英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1															
		英会話Ⅰ	1	英会話Ⅱ	1															
		小計		4					0				0			0	4			
		文学	2	日本国憲法	2	スポーツ実技Ⅰ	1													
	共生教養科目	健康スポーツ(理論)	1	健康スポーツ(実技)	1	社会学	2													
		小計		6					3				0			0	9			
	奈良・国際科目	小計		0					0				0			0	0			
		奈良・国際科目							2											
	情報教養科目	情報機器の操作	2			情報と分析	2													
		小計		2					2				0			0	4			
	キャリア形成科目	キャリアデザインⅠ	1	キャリアデザインⅡ	1	キャリアディベロップメントⅠ	1	キャリアディベロップメントⅡ	1	キャリアスキルアップⅠ	1	キャリアスキルアップⅡ	1							
		小計		2					2				2			0	6			
共通教育科目合計				14				9				2				25				
専門科目	基礎科目	教職入門A(初等)	2	教育原理A(初等)	2	教育心理学A(初等)	2	教育と日本の伝統文化(意必)	2	英米文学		2	音楽演習Ⅱ(鍵盤楽器)	2						
		発達心理学A(初等)	2	数の理解	2	教育行政学A(初等)【選必】	2	教育社会学A(初等)【選必】	2											
		幼児理解	2	生活の理解	2	自然の理解	2	社会の理解	2											
		音楽の理解	2	言葉の理解	2	音楽演習Ⅰ(鍵盤楽器)	2	食の心理	2											
		美術の理解	2	運動・健康の理解	2															
		★人間教育学	2																	
	基礎科目合計			22				16					4			0	42			
	発展科目	教職表現力演習Ⅰ		1	教職表現力演習Ⅱ		1													
		人間教育実践力開発演習Ⅰ(1年)				人間教育実践力開発演習Ⅱ(2年)														
		保育課程総論	2	子どもと環境	2	子どもと表現(体育)	2	保育相談支援	2	教育方法・技術論A(初等)	2									
		子どもと人間関係	2	子どもと言葉	2	子どもと表現(音楽)	2	音楽・歌唱の指導法	2	音楽・歌唱の指導法	2									
					子どもと健康	2	現代教育課題A(不登校・いじめ)	2	現代教育課題C(学校と安全)	2										
					総合的な学習の時間	2	現代教育課題B(特別支援)	2	体育実技の指導法	2										
									現代教育課題D(学校における異文化理解)	2										
発展科目合計			5				13					18			0	36				
演習実習科目									教育実習事前・事後指導(幼)	1			教職実践演習(幼・小)	2						
									教育実習Ⅰ(幼)	2										
									教育実習Ⅱ(幼)	2										
	★基礎ゼミナールⅠ(1年次)		2	★基礎ゼミナールⅡ(2年次)		2	人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)		4	人間教育学ゼミナールⅡ(応用)		4								
演習実習科目合計			2				2					9			6	19				
専門科目合計				29				31							31	67				
関連科目	関連科目合計											2				2				
	総計				43			40				35				6	124			
★卒業要件単位数:		【共通教育科目】から必修科目8単位を含む26単位以上													【専門科目】基礎科目から32単位以上、発展科目から47単位以上、演習実習科目から19単位以上		【共通教育科目】と【専門科目】の合計124単位以上とする。		教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目	
★CAP制 年間履修単位の上限 45単位																			教科に関する科目(必修)	
																			教科に関する科目(必修)	
																			教科又は教職に関する科目	
																			本学館卒業必修科目	
																			★赤字	

*卒業要件単位数:	【共通教育科目】から必修科目8単位を含む26単位以上	教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目			
*CAP制 年間履修単位の上限 45単位	【専門科目】基礎科目から32単位以上、発展科目から47単位以上、演習実習科目から19単位以上	教職に関する科目(必修)			
	【共通教育科目】と【専門科目】の合計124単位以上とする。	教科に関する科目(必修)			
		教科又は教職に関する科目			
		★赤字	本学部卒業必修科目		

履修モデル② 小学校教諭一種免許状を取得する履修モデル(案)																			
履修年次		1年次				2年次				3年次				4年次					
区分		科目名				科目名				科目名				科目名					
		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期		後期			
共通教育科目	基礎教養科目	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1	スペイン語基礎Ⅰ	1	スペイン語基礎Ⅱ	1										
		英会話Ⅰ	1	英会話Ⅱ	1														
		小計		4									0				0		
		スポーツ実技Ⅰ	1	日本国憲法	2														
		健康スポーツ(理論)	1	健康スポーツ(実技)	1	文学	2												
	小計		5									2				0	0		
	共生教養科目	小計		0											0		0	0	
		奈良・国際科目														0		0	
	情報教養科目	情報機器の操作	2				情報と分析	2										0	
		小計		2												0		0	
キャリア形成科目	キャリアデザインⅠ	1	キャリアデザインⅡ	2	キャリアディベロップメントⅠ	1	キャリアディベロップメントⅡ	1	キャリアスキルアップⅠ	1	キャリアスキルアップⅡ	1					0		
	小計		2											2			0		
共通教育科目合計				13					10					2			0		
専門科目	基礎科目	発達心理学A(初等)【選択】	2	教育原理A(初等)	2	教育心理学A(初等)	2	教育と日本の伝統文化【意必】	2									0	
		教職入門A(初等)	2	数の理解	2	教育行政学A(初等)【選必】	2	教育社会学A(初等)【選必】	2										
		音楽の理解	2	生活の理解	2														
		美術の理解	2	社会の理解	2														
		自然の理解	2	言葉の理解	2														
		衣食住の理解(小)【選択】	2	運動・健康の理解	2														
		★人間教育学	2																
		基礎科目合計		26					6						0			0	
		発展科目	教職表現力演習Ⅰ	1			教職表現力演習Ⅱ	1											
			人間教育実践力開発演習Ⅰ(1年)	2			人間教育実践力開発演習Ⅱ(2年)	2			人間教育実践力開発演習Ⅲ(3年)	2			人間教育実践力開発演習Ⅳ(4年)	2			
	特別活動の指導法A(初等)		2	生徒指導・道徳指導法A(初等)	2	教育課程論A(初等)	2	教育相談の理論と方法A(初等)	2										
	社会科指導法		2	音楽科指導法	2	道徳教育の指導法A(初等)	2	道徳教育の指導法A(初等)	2										
	算数科指導法		2	図工科指導法	2	理科指導法	2	教育方法・技術論A(初等)	2										
	発展科目合計	生活科指導法	2	家庭科指導法	2	体育科指導法	2	現代教育課題C(学校と安全)	2										
				総合的な学習の時間	2	現代教育課題A(不登校・いじめ)	2												
						現代教育課題B(特別支援)	2												
		発展科目合計		3				21				22					2		
		演習実習科目									教育実習事前・事後指導(小)	1			教職実践演習(幼・小)	2			
										教育実習Ⅰ(小)	2								
									教育実習Ⅱ(小)	2									
★基礎ゼミナールⅠ(1年次)	2		★基礎ゼミナールⅡ(2年次)	2			★人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	4			★人間教育学ゼミナールⅡ(応用)	4				4			
演習実習科目合計				2			2									6			
専門科目合計				31				29					31				8		
関連科目																			
	関連科目合計			0				0					0				0		
総計				44				39					33				8		
★卒業要件単位数:		【共通教育科目】から必修科目8単位を含む26単位以上												教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目					
★CAP制 年間履修単位の上限 45単位		【専門科目】基礎科目から32単位以上、発展科目から47単位以上、演習実習科目から19単位以上												教職に関する科目(必修)					
		【共通教育科目】と【専門科目】の合計124単位以上とする。												教職に関する科目(必修)					
														教職又は教職に関する科目					
														本学専攻卒業必修科目					

*卒業要件単位数:	【共通教育科目】から必修科目8単位を含む26単位以上	教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目			
*CAP制 年間履修単位の上限 45単位	【専門科目】基礎科目から32単位以上、発展科目から47単位以上、演習実習科目から19単位以上	教職に関する科目(必修)			
	【共通教育科目】と【専門科目】の合計124単位以上とする。	教科に関する科目(必修)			
		教科又は教職に関する科目			
		★赤字	本学部卒業必修科目		

履修モデル④ 中学校教諭一種、高等学校教諭一種免許状(数学)を取得する履修モデル(案)															
履修年次		1年次			2年次			3年次			4年次			計	
区分		科目名			科目名			科目名			科目名				
		前期		後期	前期		後期	前期		後期	前期		後期		
共通教育科目	基礎教養科目	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1										
		英会話Ⅰ	1	英会話Ⅱ	1										
		小計			4			0			0			0	4
		数学の世界	2	日本国憲法	2										
	健康スポーツ(理論)	1	健康スポーツ(実技)	1											
			スペイン語会話	1											
	小計			7			0			0			0	7	
	共生教養科目			人権論	2										
		小計			2			0			0			0	2
	奈良・国際科目			心理学	2										
小計				2			0			0			0	2	
情報教養科目	情報機器の操作	2													
	情報と分析	2													
	小計			4			0			0			0	4	
キャリア形成科目	キャリアデザインⅠ	1	キャリアデザインⅡ	1	キャリアディベロップメントⅠ	1	キャリアディベロップメントⅡ	1	キャリアスキルアップⅠ	1	キャリアスキルアップⅡ	1			
	小計			2			2			2			0	6	
共通教育科目合計				21			2			2			0	25	
専門科目	基礎科目	発達心理学B(中等)	2	教育原理B(中等)	2	教育心理学B(中等)	2	教育と日本の伝統文化(選択)	2						
		教育入門B(中等)	2	代数学基礎	2	教育行政学B(中等)【選択】	2	教育社会学B(中等)【選択】	2						
		数学入門	2	解析学基礎	2	代数学A(線形写像)	2	代数学B(群論)	2						
		★人間教育学	2	コンピュータ基礎	2	幾何学基礎	2	幾何学A(集合と位相)	2						
		数の理解	2	解析学A(テラー展開)	2	解析学B(複素関数)	2	解析学C(微分関数)	2						
				複素関数	2	コンピュータA(アルゴリズム論)	2								
	基礎科目合計			18			24			0			0	42	
	発展科目	教職表現力演習Ⅰ		1	教職表現力演習Ⅱ		1								
					特別活動の指導法B(中等)	2	生徒指導・進路指導B(中等)	2	教育課程論B(中等)	2	教育相談の理論と方法B(中等)	2	応用数学Ⅰ(解析幾何)【選択】		応用数学Ⅱ(応用代数学)【選択】
					数学科教育法Ⅰ	2	数学科教育法Ⅱ	2	数学科教育法Ⅲ	2	数学科教育法Ⅳ	2	解析学Ⅱ(関数解析)【選択】	2	解析学Ⅲ(微分方程式)【選択】
					総合的な学習の時間	2	代数学Ⅰ(数論)【選択】	2	教育方法・技術論B(中等)	2	数学科教育法Ⅴ【選択】	2	応用数学Ⅲ(微分方程式)【選択】	2	
						幾何学B(位相空間)	2	幾何学C(位相空間)	2	代数学Ⅱ(環と体)【選択】	2				
						確率・統計応用	2	代数学Ⅱ(環と体)【選択】	2	解析学Ⅰ(ルベグ積分)【選択】	2				
								コンピュータB(統計データ分析)	2						
発展科目合計				1			9			24			4	38	
演習実習科目合計															
★基礎ゼミナールⅠ(1年次)		2	★基礎ゼミナールⅡ(2年次)		2	人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)		4	人間教育学ゼミナールⅡ(応用)		4				
演習実習科目合計				2			2			8			6	19	
専門科目合計				21			35			33			10	99	
統計				42			37			35			10	124	
卒業要件単位数: 共通教育科目から必修科目8単位を含む28単位以上													教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目		
CAP: 年間履修単位の上限 45単位 専門科目基礎科目から32単位以上、発展科目から47単位以上、演習実習科目から19単位以上													教職に関する科目(必修)		
共通教育科目と専門科目の合計124単位以上とする。													教科に関する科目(必修)		
													★赤字 本学部卒業必修科目		

履修モデル⑤ 中学校教諭一種、高等学校教諭一種免許状(音楽)を取得する履修モデル(案)																		
履修年次		1年次				2年次				3年次				4年次		計		
区分		科目名				科目名				科目名				科目名				
		前期		後期		前期		後期		前期		後期		前期			後期	
共通教育科目	基礎教養科目	英語Ⅰ	1	英語Ⅱ	1													
		英会話Ⅰ	1	英会話Ⅱ	1													
		小計			4				0				0				0 4	
		音楽の世界	2	日本国憲法	2													
		健康スポーツ(理論)	1	健康スポーツ(実技)	1													
	共生教養科目			スペイン語会話	1													
		小計			7				0				0				0 7	
	奈良・国際科目			人権論	2													
		小計			2				0				0				0 2	
	情報教養科目			奈良学	2													
小計				2				0				0				0 2		
キャリア形成科目			情報機器の操作	2														
	小計			2				0				0				0 4		
キャリア形成科目			情報と分析	2														
	小計			4				0				0				0 4		
キャリア形成科目			キャリアデザインⅠ	1	キャリアデザインⅡ	1	キャリアディベロップメントⅠ	1	キャリアディベロップメントⅡ	1	キャリアスキルアップⅠ	1	キャリアスキルアップⅡ	1				
	小計			2			2		2		2		2			0 6		
共通教育科目合計				21				2		2		2				0 25		
専門科目	基礎科目	音楽表現ⅠA(ピアノ・歌)【選必】(音)	2	音楽表現ⅡA(ピアノ・歌)【選必】(音)	2	音楽表現ⅢA(ピアノ・歌)【選必】(音)	2	キーボードハーモニークⅠ(音)	1	キーボードハーモニークⅡ(音)	1							
		音楽表現ⅠB(リズム&ダンス)【選必】(音)	2	音楽表現ⅡB(リズム&ダンス)【選必】(音)	2	音楽表現ⅢB(リズム&ダンス)【選必】(音)	2											
		発達心理学B(中等)【選択】	2	教育原理B(中等)【音】	2	教育心理学B(中等)【音】	2	教育と日本の伝統文化【食必】	2									
		教職入門B(中等)	2	教育行政学B(中等)【選必】	2	教育社会学B(中等)【音】【選必】	2											
		音楽の理解	2	ソルフェージュⅠ(音)	1	ソルフェージュⅡ(音)	1											
		★人間教育学	2	西洋の音楽史と理論(音)	2	國民歌の音楽(日本伝統音楽を含む)【音】	2	食の心理	2									
	基礎科目合計	18			20			2								0 38		
	発展科目	音楽表現力演習Ⅰ	1	音楽表現力演習Ⅱ	1	音楽表現力演習Ⅲ	1											
		音楽合奏Ⅰ(和楽器を含む)【音】	2	音楽合奏Ⅱ【選択】(音)	2	音楽合奏Ⅲ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅰ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅱ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅲ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅳ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅴ【選択】(音)	2	
				特別活動の指導法B(中等)【音】	2	生徒指導・進路指導B(中等)【音】	2	教育方法・技術論B(中等)【音】	2	音楽科教育法Ⅵ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅶ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅷ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅷ【選択】(音)	2	
				合唱Ⅰ【音】	1	音楽科教育法Ⅰ【音】	2	音楽科教育法Ⅱ【音】	2	音楽科教育法Ⅲ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅳ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅴ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅵ【選択】(音)	2	
				合唱Ⅱ【音】	1	音楽科教育法Ⅲ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅳ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅴ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅵ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅶ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅷ【選択】(音)	2	
				総合的な学習の時間	2	音楽科教育法Ⅵ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅶ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅷ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅷ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅷ【選択】(音)	2	音楽科教育法Ⅷ【選択】(音)	2	
						音楽表現ⅠB【選択】(音)	2	音楽表現ⅡB【選択】(音)	2	音楽表現ⅢB【選択】(音)	2	音楽表現ⅣB【選択】(音)	2	音楽表現ⅤB【選択】(音)	2	音楽表現ⅥB【選択】(音)	2	
						音楽表現Ⅰ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅱ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅲ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅳ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅴ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅵ【選必】(音)	2	
						音楽表現Ⅰ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅱ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅲ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅳ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅴ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅵ【選必】(音)	2	
						音楽表現Ⅰ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅱ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅲ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅳ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅴ【選必】(音)	2	音楽表現Ⅵ【選必】(音)	2	
	発展科目合計	3			15			20								0 42		
	演習実習科目合計																	
専門科目合計																		
総計				42			37			33			33			12 124		
卒業要件単位数		【共通教育科目】から必修科目3単位を含む28単位以上												教育職員免許法施行規則68条の6に定める科目				
CAP制 年間履修単位の上限 45単位		【専門科目】基礎科目から32単位以上、発展科目から47単位以上、演習実習科目から19単位以上												教職に関する科目(必修)				
		【共通教育科目】と【専門科目】の合計124単位以上とする。												教科に関する科目(必修)				
														教科又は教職に関する科目				
														★赤字				
														本学部卒業必修科目				

【人間教育学部カリキュラム表 H30 年度～】

【表 1】

人間教育学部 人間教育学科 人間教育学専攻								
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
共通教育科目	英語Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	英語Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	英会話Ⅰ	1・2・3・4前	1				○	
	英会話Ⅱ	1・2・3・4後	1				○	
	中国語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	中国語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	中国語会話	1・2・3・4後		1			○	
	スペイン語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	スペイン語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	スペイン語会話	1・2・3・4後		1			○	
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	日本語表現Ⅰ	1・2・3・4前		1			○	
	日本語表現Ⅱ	1・2・3・4後		1			○	
	日本語表現Ⅲ	1・2・3・4前		1			○	
	日本語表現Ⅳ	1・2・3・4後		1			○	
	文学	1・2・3・4前		2		○		
	哲学	1・2・3・4前		2		○		
	倫理学	1・2・3・4後		2		○		
	心理学	1・2・3・4後		2		○		
	行動の科学	1・2・3・4前		2		○		
	文化人類学	1・2・3・4前		2		○		
	音楽の世界	1・2・3・4前		2		○		
	社会学	1・2・3・4前		2		○		
	日本国憲法	1・2・3・4後	2			○		
	歴史学	1・2・3・4前		2		○		
	地理学	1・2・3・4前		2		○		
	数学の世界	1・2・3・4前		2		○		
	自然科学の基礎	1・2・3・4後		2		○		
	環境化学の基礎	1・2・3・4前		2		○		
	健康スポーツ(理論)	1・2・3・4前	1			○		
	健康スポーツ(実技)	1・2・3・4後	1					○
	スポーツ実技Ⅰ	1・2・3・4前		1				○
	スポーツ実技Ⅱ	1・2・3・4後		1				○
	共生と社会	1・2・3・4前		2		○		
	人権論	1・2・3・4後		2		○		
	ボランティア活動	1・2・3・4後		2		○		
	生活と環境	1・2・3・4後		2		○		
	奈良学	1・2・3・4後		2		○		
	異文化コミュニケーション	1・2・3・4前		2		○		
	国際事情	1・2・3・4前		2		○		
	情報機器の操作	1・2・3・4前	2			○		
	情報倫理とセキュリティ	1・2・3・4後		2		○		
	データの世界	1・2・3・4後		2		○		
	CGの基礎と演習	1・2・3・4前		2		○		
	情報と分析	1・2・3・4前		2		○		
	キャリアデザインⅠ	1前		1			○	
	キャリアデザインⅡ	1後		1			○	
	キャリアディベロップメントⅠ	2前		1			○	
	キャリアディベロップメントⅡ	2後		1			○	
	キャリアスキルアップⅠ	3前		1			○	
	キャリアスキルアップⅡ	3後		1			○	
	インターンシップ	3後		2				○
	共通教育科目小計（53科目）	—	8	72	0	—	—	—

専 門 科 目	基 礎 科 目	教 育 学 の 基 礎 に 関 す る 理 解	教育心理学A（初等）	2前		2		○		
			教育心理学B（中等）	2前		2		○		
			発達心理学A（初等）	1前		2		○		
			発達心理学B（中等）	1前		2		○		
			保育の心理学Ⅰ	2後		2		○		
			保育の心理学Ⅱ	3前		1			○	
			教育行政学A（初等）	2前		2		○		
			教育行政学B（中等）	2前		2		○		
			教育社会学A（初等）	2後		2		○		
			教育社会学B（中等）	2後		2		○		
			教職入門A（初等）	1前		2		○		
			教職入門B（中等）	1前		2		○		
			社会福祉	1前		2		○		
			幼児理解	1前		2		○		
			保育者論	1後		2		○		
			教育原理A（初等）	1後		2		○		
			教育原理B（中等）	1後		2		○		
			保育原理	2前		2		○		
			言葉の理解	1後		2		○		
			社会の理解	1後		2		○		
			数の理解	1後		2		○		
			自然の理解	1前		2		○		
			生活の理解	1後		2		○		
			音楽の理解	1前		2		○		
			美術の理解	1前		2		○		
			衣食住の理解	1前		2		○		
			運動・健康の理解	1後		2		○		
			書写演習(小)	2後		2			○	
			器楽演習Ⅰ(鍵盤楽器)	1前		2			○	
			器楽演習Ⅱ(鍵盤楽器)	2後		2			○	
			食の心理	2後		2		○		
			国語学入門	1前		2		○		
			国語学Ⅰ	1後		2		○		
			国文学入門	1前		2		○		
			国文学Ⅰ	1後		2		○		
			漢文学入門	1前		2		○		
			漢文学Ⅰ	1後		2		○		
			書写・書道入門	1後		2		○		
			書写・書道Ⅰ	2前		2		○		
			小計（39科目）			0	77	0	—	
		に 人 間 を 関 心 す る 教 育 学 の 基 礎	人間教育学	1前		2		○		
			ことばとコミュニケーション	1後		2		○		
			教育と日本の伝統文化	2後		2		○		
			英米文学	2前		2		○		
			小計（4科目）	—		2	6	0	—	
			基礎科目小計（43科目）			2	83	0	—	
	発 展 科 目	現 代 教 育 ・ 教 育 経 営 に 関 す る 理 解	現代教育課題A(不登校・いじめ)	3前		2		○		
			現代教育課題B(特別支援)	3前		2		○		
			現代教育課題C(学校と安全)	3後		2		○		
			現代教育課題D(学校における異文化理解)	3後		2		○		
			保育相談支援	3前		2			○	
			家庭支援論	3前		2		○		
			相談援助	3後		1			○	
			児童家庭福祉	2前		2		○		
			社会的養護	2前		2		○		
			教育相談の理論と方法A（初等）	3後		2		○		
			教育相談の理論と方法B（中等）	3後		2		○		
			小計（11科目）			0	21	0	—	

専門科目	発展科目	教育実践の理解	保育課程総論	1後		2		○	
			保育内容総論	1前		2			○
			子どもと健康	2後		2			○
			子どもと人間関係	1後		2			○
			子どもと環境	2前		2			○
			子どもと言葉	2前		2			○
			子どもと表現(体育)	2後		2			○
			子どもと表現(図工)	3前		2			○
			子どもと表現(音楽)	2後		2			○
			社会的養護内容	2後		1			○
			乳児保育	2前		2			○
			障害児保育	3前		2			○
			子どもの保健ⅠA	3前		2		○	
			子どもの保健ⅠB	3後		2		○	
			子どもの保健Ⅱ	3後		1			○
			子どもの食と栄養	2後		2			○
			教育課程論A(初等)	3前		2		○	
			教育課程論B(中等)	3前		2		○	
			道徳教育の指導法A(初等)	3後		2		○	
			道徳教育の指導法B(中等)	3後		2		○	
			教育方法・技術論A(初等)	3後		2		○	
			教育方法・技術論B(中等)	3後		2		○	
			特別活動の指導法A(初等)	2前		2		○	
			特別活動の指導法B(中等)	2前		2		○	
			生徒指導・進路指導論A(初等)	2後		2		○	
			生徒指導・進路指導論B(中等)	2後		2		○	
			国語科指導法	3前		2		○	
			社会科指導法	2前		2		○	
			算数科指導法	2前		2		○	
			理科指導法	3前		2		○	
			生活科指導法	2前		2		○	
			音楽科指導法	2後		2		○	
			器楽・歌唱の指導法	3後		2			○
			図工科指導法	2後		2		○	
			家庭科指導法	2後		2		○	
			体育科指導法	3前		2		○	
			体育実技の指導法	3後		2			○
			総合的な学習の時間	2後		2		○	
			小学校外国語活動の指導法	2後		2			○
			国語学Ⅱ	2前		2		○	
			国語学特論	4前		2		○	
			語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)	2後		2			○
			国文学Ⅱ	2前		2		○	
			国文学特論	3前		2		○	
			語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)	2後		2			○
			漢文学Ⅱ	2前		2		○	
			漢文学特論	3後		2		○	
			語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)	2後		2			○
			書写・書道Ⅱ	3前		2			○
			国語科教育法Ⅰ	2後		2		○	
			国語科教育法Ⅱ	3前		2		○	
			国語科教育法Ⅲ	3後		2		○	
			国語科教育法Ⅳ	4前		2		○	
	小計(53科目)	—	0	104	0	—			
教職キャリア形成			教職表現力演習Ⅰ	1通年		1			○
			教職表現力演習Ⅱ	2通年		1			○
			人間教育実践力開発演習Ⅰ	1通年		2			○
			人間教育実践力開発演習Ⅱ	2通年		2			○
			人間教育実践力開発演習Ⅲ	3通年		2			○
			人間教育実践力開発演習Ⅳ	4通年		2			○
			小計(6科目)	—	0	10	0	—	
発展科目小計(70科目)					0	135	0	—	

専門科目	演習実習科目	教育実践実習	保育所実習Ⅰ	3前		2				○
			保育所実習指導Ⅰ	3前		1			○	
			施設実習Ⅰ	3後		2				○
			施設実習指導Ⅰ	3後		1			○	
			保育所実習Ⅱ	4前		2				○
			保育所実習指導Ⅱ	4前		1			○	
			施設実習Ⅱ	4後		2				○
			施設実習指導Ⅱ	4後		1			○	
			教育実習事前事後指導(幼)	3通年		1			○	
			教育実習Ⅰ(幼)	3前		2				○
			教育実習Ⅱ(幼)	3前		2				○
			教育実習事前事後指導(小)	3通年		1			○	
			教育実習Ⅰ(小)	3前		2				○
			教育実習Ⅱ(小)	3前		2				○
			教育実習事前事後指導(中・高)	3通年		1			○	
			教育実習Ⅰ(中・高)	3前		2				○
			教育実習Ⅱ(中)	3前		2				○
			保育実践演習	4後		2			○	
			教職実践演習(幼・小)	4後		2			○	
			教職実践演習(中・高)	4後		2			○	
	小計(20科目)	—	0	33	0	—				
	演習実習科目	ゼミナール	基礎ゼミナールⅠ	1通年	2			○		
			基礎ゼミナールⅡ	2通年	2			○		
			人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	3通年	4			○		
			人間教育学ゼミナールⅡ(応用)	4通年	4			○		
卒業研究			4後		4			○		
小計(5科目)			—	12	4	0	—			
演習実習科目小計(25科目)				12	37	0	—			
専門科目小計(小計138科目)				14	255	0	—			
関連科目	論学校図書館取得司書教	学校経営と学校図書館	4後		2		○			
		学校図書館メディアの構成	4前		2		○			
		学習指導と学校図書館	4前		2		○			
		読書と豊かな人間性	4後		2		○			
		情報メディアの活用	4後		2		○			
	日本語教師資格	言語学概論	4前		2		○			
		社会言語学	3前		2		○			
		日本事情	3後		2		○			
		日本語教育入門	3後		2		○			
		日本語教育指導法・教材研究	4前		2		○			
		日本語教育実習事前事後指導	4前		1			○		
		日本語教育実習(国内又は海外)	4前		2				○	
関連科目小計(12科目)			—	0	23	0	—			
合計(203科目)			—	22	350	0	—			
註1：下記「教育実践実習」区分の授業科目①～③のいずれかを選択必修科目とする。										
① 教育実習事前事後指導(幼)、教育実習Ⅰ(幼)、教育実習Ⅱ(幼)、教職実践演習(幼・小)										
② 教育実習事前事後指導(小)、教育実習Ⅰ(小)、教育実習Ⅱ(小)、教職実践演習(幼・小)										
③ 教育実習事前事後指導(中・高)、教育実習Ⅰ(中・高)、教育実習Ⅱ(中)、教職実践演習(中・高)										

【表2】								
人間教育学部 人間教育学科 中等(数学・音楽)専攻								
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
共通教育科目	英語Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	英語Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	英会話Ⅰ	1・2・3・4前	1				○	
	英会話Ⅱ	1・2・3・4後	1				○	
	中国語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	中国語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	中国語会話	1・2・3・4後		1			○	
	スペイン語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	スペイン語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	スペイン語会話	1・2・3・4後		1			○	
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	日本語表現Ⅰ	1・2・3・4前		1			○	
	日本語表現Ⅱ	1・2・3・4後		1			○	
	日本語表現Ⅲ	1・2・3・4前		1			○	
	日本語表現Ⅳ	1・2・3・4後		1			○	
	文学	1・2・3・4前		2		○		
	哲学	1・2・3・4前		2		○		
	倫理学	1・2・3・4後		2		○		
	心理学	1・2・3・4後		2		○		
	行動の科学	1・2・3・4前		2		○		
	文化人類学	1・2・3・4前		2		○		
	音楽の世界	1・2・3・4前		2		○		
	社会学	1・2・3・4前		2		○		
	日本国憲法	1・2・3・4後	2			○		
	歴史学	1・2・3・4前		2		○		
	地理学	1・2・3・4前		2		○		
	数学の世界	1・2・3・4前		2		○		
	自然科学の基礎	1・2・3・4後		2		○		
	環境化学の基礎	1・2・3・4前		2		○		
	健康スポーツ(理論)	1・2・3・4前	1			○		
	健康スポーツ(実技)	1・2・3・4後	1					○
	スポーツ実技Ⅰ	1・2・3・4前		1				○
	スポーツ実技Ⅱ	1・2・3・4後		1				○
	共生と社会	1・2・3・4前		2		○		
	人権論	1・2・3・4後		2		○		
	ボランティア活動	1・2・3・4後		2		○		
	生活と環境	1・2・3・4後		2		○		
	奈良学	1・2・3・4後		2		○		
	異文化コミュニケーション	1・2・3・4前		2		○		
	国際事情	1・2・3・4前		2		○		
	情報機器の操作	1・2・3・4前	2			○		
	情報倫理とセキュリティ	1・2・3・4後		2		○		
	データの世界	1・2・3・4後		2		○		
	CGの基礎と演習	1・2・3・4前		2		○		
	情報と分析	1・2・3・4前		2		○		
	キャリアデザインⅠ	1前		1			○	
	キャリアデザインⅡ	1後		1			○	
	キャリアディベロップメントⅠ	2前		1			○	
	キャリアディベロップメントⅡ	2後		1			○	
	キャリアスキルアップⅠ	3前		1			○	
	キャリアスキルアップⅡ	3後		1			○	
	インターンシップ	3後		2				○
	共通教育科目小計(53科目)	—	8	72	0	—		

専門科目	基礎科目	教育学の基礎に関する理解	教育心理学B（中等）	2前	2		○		
			発達心理学B（中等）	1前	2		○		
			教育行政学B（中等）	2前	2		○		
			教育社会学B（中等）	2後	2		○		
			教職入門B（中等）	1前	2		○		
			教育原理B（中等）	1後	2		○		
			数の理解	1後	2		○		
			音楽の理解	1前	2		○		
			器楽演習Ⅰ（鍵盤楽器）	1前	2			○	
			器楽演習Ⅱ（鍵盤楽器）	2後	2			○	
			食の心理	2後	2		○		
			代数学基礎	1後	2		○		
			解析学基礎	1後	2		○		
			コンピュータ基礎	1後	2		○		
			代数学A（線形写像）	2前	2		○		
			幾何学基礎	2前	2		○		
			解析学A（テーラー展開）	2前	2		○		
			確率・統計基礎	2前	2		○		
			代数学B（群論）	2後	2		○		
			幾何学A（集合と位相）	2後	2		○		
			解析学B（複素関数）	2後	2		○		
			コンピュータA（アルゴリズム論）	2後	2		○		
			楽典	1後	2		○		
			ソルフェージュⅠ	2前	1			○	
			ソルフェージュⅡ	2後	1			○	
			キーボードハーモニーⅠ	3前	1			○	
			キーボードハーモニーⅡ	3後	1			○	
			音楽表現ⅠA（ピアノ・歌）	1通年	2			○	
			音楽表現ⅠB（リズム&ダンス）	1通年	2			○	
			音楽表現ⅡA（ピアノ・歌）	2通年	2			○	
			音楽表現ⅡB（リズム&ダンス）	2通年	2			○	
	小計（31科目）		0	58	0		－		
	基礎科目に関する理解	人間教育の基礎	人間教育学	1前	2		○		
			教育と日本の伝統文化	2後	2		○		
			英米文学	2前	2		○		
			数学入門	1前	2		○		
			西洋の音楽史と理論	2前	2		○		
			諸民族の音楽（日本伝統音楽を含む）	2後	2		○		
	小計（6科目）	－	2	10	0		－		
	基礎科目小計（37科目）			2	68	0		－	
	発展科目	現代教育に関する理解	現代教育課題A(不登校・いじめ)	3前	2		○		
			現代教育課題B(特別支援)	3前	2		○		
			現代教育課題C(学校と安全)	3後	2		○		
			現代教育課題D(学校における異文化理解)	3後	2		○		
			教育相談の理論と方法B（中等）	3後	2		○		
			小計（5科目）	0	10	0		－	
		教育実践の理解	教育課程論B（中等）	3前	2		○		
道徳教育の指導法B（中等）			3後	2		○			
教育方法・技術論B（中等）			3後	2		○			
特別活動の指導法B（中等）			2前	2		○			
生徒指導・進路指導論B（中等）			2後	2		○			
総合的な学習の時間			2後	2		○			
代数学Ⅰ（数論）			3前	2		○			
幾何学B（位相空間）			3前	2		○			
確率・統計応用			3前	2		○			
代数学Ⅱ（環と体）			3後	2		○			
解析学Ⅰ（ルベーグ積分）			3後	2		○			
コンピュータB（統計データ分析）			3後	2		○			
応用数学Ⅰ（位相幾何）			4前	2		○			
解析学Ⅱ（関数解析）			4前	2		○			
応用数学Ⅱ（応用代数学）			4後	2		○			
応用数学Ⅲ（微分方程式）			4後	2		○			
数学科教育法Ⅰ			2後	2		○			
数学科教育法Ⅱ			3前	2		○			
数学科教育法Ⅲ			3後	2		○			
数学科教育法Ⅳ			4前	2		○			

専門科目	発展科目	教育実践の理解	合唱Ⅰ	2前		1			○	
			合唱Ⅱ	2後		1			○	
			器楽演習ⅠA（ピアノ）	3前		1			○	
			器楽演習ⅠB（管打）	3前		1			○	
			身体表現演習Ⅰ	3前		1			○	
			声楽実技Ⅰ（日本伝統歌唱を含む）	3前		1			○	
			器楽演習ⅡA（ピアノ）	3後		1			○	
			器楽演習ⅡB（管打）	3後		1			○	
			身体表現演習Ⅱ	3後		1			○	
			声楽実技Ⅱ（日本伝統歌唱を含む）	3後		1			○	
			器楽特殊演習ⅠA（ピアノ）	4前		1			○	
			器楽特殊演習ⅠB（管打）	4前		1			○	
			身体表現特殊演習Ⅰ	4前		1			○	
			声楽演奏法演習Ⅰ	4前		1			○	
			器楽特殊演習ⅡA（ピアノ）	4後		1			○	
			器楽特殊演習ⅡB（管打）	4後		1			○	
			身体表現特殊演習Ⅱ	4後		1			○	
			声楽演奏法演習Ⅱ	4後		1			○	
			器楽合奏Ⅰ（和楽器を含む）	1通年		2			○	
			器楽合奏Ⅱ	2通年		2			○	
			器楽合奏Ⅲ	3通年		2			○	
			器楽合奏Ⅳ	4通年		2			○	
			指揮法	3前		2		○		
			作曲法基礎（編曲法を含む）	4前		2		○		
			作曲法応用（編曲法を含む）	4後		1			○	
			音楽科教育法Ⅰ	2後		2		○		
			音楽科教育法Ⅱ	3前		2		○		
			音楽科教育法Ⅲ	3後		2		○		
			音楽科教育法Ⅳ	4前		2		○		
			小計（49科目）	—	0	79	0		—	
	リ教職形成	教職表現力演習Ⅰ	1通年		1			○		
	ヤ	教職表現力演習Ⅱ	2通年		1			○		
		小計（2科目）	—	0	2	0		—		
		発展科目小計（56科目）		0	91	0		—		
	演習実習科目	教育実践実習	教育実習事前事後指導（中・高）	3通年	1				○	
			教育実習Ⅰ（中・高）	3前	2					○
			教育実習Ⅱ（中）	3前	2					○
			教職実践演習（中・高）	4後	2				○	
			小計（4科目）	—	7	0	0		—	
		ゼミナール	基礎ゼミナールⅠ	1通年	2				○	
			基礎ゼミナールⅡ	2通年	2				○	
			人間教育学ゼミナールⅠ（基礎）	3通年	4				○	
			人間教育学ゼミナールⅡ（応用）	4通年	4				○	
			卒業研究	4後		4			○	
			小計（5科目）	—	12	4	0		—	
	演習実習科目小計（9科目）			19	4	0		—		
	専門科目小計（小計102科目）			21	163	0		—		
	関連科目	教諭免許取得	学校経営と学校図書館	4後		2		○		
			学校図書館メディアの構成	4前		2		○		
			学習指導と学校図書館	4前		2		○		
読書と豊かな人間性			4後		2		○			
情報メディアの活用			4後		2		○			
日本語教師資格		言語学概論	4前		2		○			
		社会言語学	3前		2		○			
		日本事情	3後		2		○			
		日本語教育入門	3後		2		○			
		日本語教育指導法・教材研究	4前		2		○			
		日本語教育実習事前事後指導	4前		1			○		
		日本語教育実習（国内又は海外）	4前		2				○	
関連科目小計（12科目）		—	0	23	0		—			
合計（167科目）		—	29	258	0		—			

(保育士資格)															
告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等							配当	開講時期			
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数									
						必修	選択	計							
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	日本国憲法	講義	2		2	1	後期					
				情報機器の操作	講義	2		2	1	前期					
				文学	講義		2	2	1	前期					
				音楽の世界	講義		2	2	1	前期					
				数学の世界	講義		2	2	1	前期					
				データの世界	講義		2	2	1	後期					
				キャリアデザインⅠ	演習		1	1	1	前期					
				キャリアデザインⅡ	演習		1	1	1	後期					
				キャリアディベロップメントⅠ	演習		1	1	2	－					
				キャリアディベロップメントⅡ	演習		1	1	2	－					
				キャリアスキルアップⅠ	演習		1	1	3	－					
				キャリアスキルアップⅡ	演習		1	1	3	－					
	外国語	演習	2以上	英会話Ⅰ	演習	1		1	1	前期					
				英会話Ⅱ	演習	1		1	1	後期					
				中国語基礎Ⅰ	講義		1	1	1	前期					
				中国語基礎Ⅱ	講義		1	1	1	後期					
				中国語会話	演習		1	1	1	後期					
				スペイン語基礎Ⅰ	講義		1	1	1	前期					
				スペイン語基礎Ⅱ	講義		1	1	1	後期					
				スペイン語会話	演習		1	1	1	後期					
	体　育	講義	1	健康スポーツ（理論）	講義	1		1	1	前期					
		実技	1	健康スポーツ（実技）	実技	1		1	1	後期					
合　　計		10単位以上				8	20	28							
				28単位（≧10単位）											
告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等							配当	開講時期			
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数									
						必修	選択	計							
的保 育 の 本 質 ・ 目 目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2		2	2	－					
	教育原理	講義	2	教育原理A（初等）	講義	2		2	1	後期					
	児童家庭福祉	講義	2	児童家庭福祉	講義	2		2	2	－					
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2		2	1	前期					
	相談援助	演習	1	相談援助	演習	1		1	3	－					
	社会的養護	講義	2	社会的養護	講義	2		2	2	－					
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2		2	1	後期					
保 育 の 対 象 の 科 目 理 解	保育の心理学Ⅰ	講義	2	保育の心理学Ⅰ	講義	2		2	2	－					
	保育の心理学Ⅱ	演習	1	保育の心理学Ⅱ	演習	1		1	3	－					
	子どもの保健Ⅰ	講義	4	子どもの保健ⅠA	講義	2		2	3	－					
		演習	1	子どもの保健ⅠB	講義	2		2	3	－					
	子どもの保健Ⅱ	演習	2	子どもの保健Ⅱ	演習	1		1	3	－					
	子どもの食と栄養	講義	2	子どもの食と栄養	演習	2		2	2	－					
法保 育 の 内 容 ・ 科 目 方	家庭支援論	講義	2	家庭支援論	講義	2		2	3	－					
	保育課程論	講義	2	保育課程総論	講義	2		2	1	後期					
	保育内容総論	演習	2	保育内容総論	演習	2		2	1	前期					
	保育内容演習	演習	5	子どもと健康	演習	2		2	2	－					
				子どもと人間関係	演習	2		2	1	後期					
				子どもと環境	演習	2		2	2	－					
				子どもと言葉	演習	2		2	2	－					
	乳児保育	演習	2	乳児保育	演習	2		2	2	－					
	障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	2		2	3	－					
社会的養護内容	演習	1	社会的養護内容	演習	1		1	2	－						
保育相談支援	演習	2	保育相談支援	演習	2		2	3	－						
保育の 表現技術	保育の表現技術	演習	4	子どもと表現(体育)	演習	2		2	2	－					
				子どもと表現(図工)	演習	2		2	3	－					
				子どもと表現(音楽)	演習	2		2	2	－					
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育所実習Ⅰ	実習	2/4		2/4	3	－					
				施設実習Ⅰ	実習	2/4		2/4	3	－					
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育所実習指導Ⅰ	演習	1		1	3	－					
総合演習	保育実践演習	演習	2	施設実習指導Ⅰ	演習	1		1	3	－					
				保育実践演習	演習	2		2	4	－					
合　　計		51単位				58		58							
				58単位（≧51単位）											

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					配 当	開 講 時 期
系列	教 科 目	授 業 形 態	単 位 数	左に対応して開設されている教科目	授 業 形 態	単 位 数				
						必修	選択	計		
的 保 育 の 本 質 ・ 目				教職入門A（初等）	講義	2		2	1	前期
				教育行政学A（初等）	講義	2		2	2	－
				人間教育学	講義	2		2	1	前期
解 保 育 の 対 象 の 科 目			15	教育心理学A（初等）	講義	2		2	2	－
				発達心理学A（初等）	講義		2	2	1	前期
			単	幼児理解	講義	2		2	1	後期
			各指定保育士養成施設において 設定	位						
以	教育方法・技術論A（初等）	講義		2		2	3	－		
上										
法 保 育 の 内 容 ・ 方				音楽科指導法	講義	2		2	2	－
				器楽・歌唱の指導法	講義		2	2	3	－
				図工科指導法	講義	2		2	2	－
				体育実技の指導法	演習		2	2	3	－
				器楽演習Ⅰ（鍵盤楽器）	演習		2	2	1	前期
保 育 実 習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	〔 2 〕	保育所実習Ⅱ	実習	2		2	4	－
				保育所実習指導Ⅱ	演習	1		1	4	－
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	〔 1 〕	施設実習Ⅱ	実習		2	2	4	－
				施設実習指導Ⅱ	演習		1	1	4	－
合 計		18単位以上			19	11	30			
			30単位（≧18単位）							
保育士資格取得科目ではないが、 学校独自の科目として開設されている教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					配 当	開 講 時 期
				左に対応して開設されている教科目	授 業 形 態	単 位 数				
						必修	選択	計		
				衣食住の理解	講義		2	2	1	前期
				行動の科学	講義		2	2	1	集中
				食の心理	講義		2	2	2	－
				ことばとコミュニケーション	講義		2	2	1	後期
				生活科指導法	講義		2	2	2	－
				家庭科指導法	講義		2	2	2	－
体育科指導法	講義		2	2	2	－				
合 計							14	14		

【人間教育学部カリキュラム表 H26 年度～H27 年度】

【表 1】

人間教育学部 人間教育学科								
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
共通教育科目	英語Ⅰ	1・2・3・4前	1			○		
	英語Ⅱ	1・2・3・4後	1			○		
	英会話Ⅰ	1・2・3・4前	1				○	
	英会話Ⅱ	1・2・3・4後	1				○	
	中国語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	中国語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	中国語会話	1・2・3・4後		1			○	
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	日本語表現Ⅰ	1・2・3・4前		1			○	
	日本語表現Ⅱ	1・2・3・4後		1			○	
	文学	1・2・3・4前		2		○		
	哲学	1・2・3・4前		2		○		
	倫理学	1・2・3・4後		2		○		
	心理学	1・2・3・4後		2		○		
	行動科学の基礎	1・2・3・4前		2		○		
	文化人類学	1・2・3・4前		2		○		
	感性・イメージ表現	1・2・3・4後		2		○		
	音楽の世界	1・2・3・4前		2		○		
	社会学	1・2・3・4前		2		○		
	社会科学の基礎	1・2・3・4後		2		○		
	日本国憲法	1・2・3・4後	2			○		
	外国史	1・2・3・4前		2		○		
	地理学	1・2・3・4前		2		○		
	数学の世界	1・2・3・4前		2		○		
	物理と地学の基礎	1・2・3・4後		2		○		
	環境化学の基礎	1・2・3・4前		2		○		
	実験と科学	1・2・3・4前		2		○		
	健康スポーツ(理論)	1・2・3・4前	1			○		
	健康スポーツ(実技)	1・2・3・4後	1					○
	スポーツ実技Ⅰ	1・2・3・4前		1				○
	スポーツ実技Ⅱ	1・2・3・4後		1				○
	共生と日本社会	1・2・3・4前		2		○		
	人権論	1・2・3・4後		2		○		
	ボランティア活動	1・2・3・4後		2		○		
	生活と環境	1・2・3・4後		2		○		
	奈良学	1・2・3・4後		2		○		
	文化コミュニケーション	1・2・3・4前		2		○		
	文化芸術交流論	1・2・3・4前		2		○		
	文化芸術交流演習	1・2・3・4後		1			○	
	国際経済事情	1・2・3・4前		2		○		
	情報機器の操作	1・2・3・4前	2			○		
	情報倫理とセキュリティ	1・2・3・4後		2		○		
	シミュレーションの世界	1・2・3・4後		2		○		
	データの世界	1・2・3・4後		2		○		
	CGの基礎と演習	1・2・3・4前		2		○		
	キャリアデザインⅠ	1前		1			○	
	キャリアデザインⅡ	1後		1			○	
	キャリアディベロップメントⅠ	2前		1			○	
	キャリアディベロップメントⅡ	2後		1			○	
	キャリアスキルアップⅠ	3前		1			○	
	キャリアスキルアップⅡ	3後		1			○	
	インターンシップ	3後		2				○
共通教育科目小計（53科目）		—	10	74	0	—		

専門科目	基礎科目	教育学の基礎に関する理解	教育心理学A（初等）	2前	2			○		
			教育心理学B（中等）	2前		2		○		
			発達心理学A（初等）	1前		2		○		
			発達心理学B（中等）	1前		2		○		
			教育行政学A（初等）	2前	2			○		
			教育行政学B（中等）	2後		2		○		
			教職入門A（初等）	1前	2			○		
			教職入門B（中等）	1前		2		○		
			教育原理A（初等）	1後	2			○		
			教育原理B（中等）	1後		2		○		
			学力と評価	2前		2		○		
			言葉の理解	2前	2			○		
			社会の理解	1後	2			○		
			数の理解	1後	2			○		
			自然の理解	2後	2			○		
			生活の理解	1後	2			○		
			音楽の理解	1前	2			○		
			美術の理解	1前	2			○		
			衣食住の理解	2前		2		○		
			運動・健康の理解	2前	2			○		
			書写演習(小)	2後		2			○	
			器楽演習Ⅰ(鍵盤楽器)	1前		2			○	
			器楽演習Ⅱ(鍵盤楽器)	2後		2			○	
			器楽演習Ⅲ(パーカッション)	1前		2			○	
			器楽演習Ⅳ(パーカッション)	1後		2			○	
			行動の科学	2後		2		○		
			食の心理	2後		2		○		
			国語学入門	2前		2		○		
			国語学Ⅰ	2後		2		○		
			国文学入門	2前		2		○		
			国文学Ⅰ	2後		2		○		
			漢文学入門	2前		2		○		
			漢文学Ⅰ	2後		2		○		
			書写・書道入門	1後		2		○		
			書写・書道Ⅰ	2前		2		○		
			小計（35科目）		24	46	0	－		
	人間教育の基礎に関する理解	人間教育学の基礎に関する理解	人間教育学Ⅰ(入門)	1前	2		○			
			人間教育学Ⅱ(応用)	2前	2		○			
			ことばとコミュニケーション	1後		2		○		
			教育と日本の伝統文化入門	1後	2		○			
			教育と日本の伝統文化演習	2前		1			○	
			異文化コミュニケーション	2前		2		○		
			英米文学	2前		2		○		
			英語とテレビに見る異文化	2後		2		○		
			コミュニティと音楽文化	2後		2		○		
			小計（9科目）	－	6	11	0	－		
	基礎科目小計（44科目）				30	57	0	－		
	発展科目	現代教育・教育経営に関する理解	現代教育論	2後		2		○		
			現代教育課題A(不登校・いじめ)	3前		2		○		
			現代教育課題B(特別支援)	3前		2		○		
			現代教育課題C(学校と安全)	3後		2		○		
			現代教育課題D(学校における異文化理解)	3後		2		○		
			幼児理解	2前		2		○		
			保育相談支援	2後		2		○		
			教育相談の理論と方法A（初等）	3後	2			○		
			教育相談の理論と方法B（中等）	3後		2		○		
			小計（9科目）		2	16	0	－		

専門科目	発展科目	教育実践の理解	保育課程総論	2後		2		○		
			子どもと健康	2後		2		○		
			子どもと人間関係	2後		2		○		
			子どもと環境	2前		2		○		
			子どもと言葉	2前		2		○		
			子どもと表現(体育)	2前		2		○		
			子どもと表現(図工)	2後		2		○		
			子どもと表現(音楽)	2後		2		○		
			教育課程論A (初等)	3前	2			○		
			教育課程論B (中等)	3前		2		○		
			道德教育の指導法A (初等)	3後	2			○		
			道德教育の指導法B (中等)	3前		2		○		
			教育方法・技術論A (初等)	3後	2			○		
			教育方法・技術論B (中等)	3後		2		○		
			特別活動の指導法A (初等)	2前	2			○		
			特別活動の指導法B (中等)	2後		2		○		
			生徒指導・進路指導論A (初等)	2前	2			○		
			生徒指導・進路指導論B (中等)	2後		2		○		
		教育実践の理解	国語科指導法	3前	2			○		
			社会科指導法	2前	2			○		
			算数科指導法	2前	2			○		
			理科指導法	3前	2			○		
			生活科指導法	2後	2			○		
			音楽科指導法	2後	2			○		
			器楽・歌唱の指導法	3後		2			○	
			図工科指導法	2後	2			○		
			家庭科指導法	3後	2			○		
			体育科指導法	3前	2			○		
			体育実技の指導法	3後		2			○	
			総合的な学習の時間	2後		2		○		
			小学校外国語活動の指導法	2後		2			○	
			国語学Ⅱ	3前		2		○		
			国語学特論	4前		2		○		
			語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)	3後		2			○	
			国文学Ⅱ	3前		2		○		
			国文学特論	4前		2		○		
			語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)	3後		2			○	
			漢文学Ⅱ	3前		2		○		
			漢文学特論	4前		2		○		
			語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)	3後		2			○	
			書写・書道Ⅱ	3前		2			○	
			国語科教育法Ⅰ	2後		2		○		
			国語科教育法Ⅱ	3前		2		○		
			国語科教育法Ⅲ	3前		2		○		
			国語科教育法Ⅳ	3後		2		○		
			小計(45科目)	—	28	62	0		—	
	リ教ア職形成	教職表現力演習Ⅰ	1通年		1				○	
		教職表現力演習Ⅱ	2通年		1				○	
		小計(2科目)	—		0	2	0		—	
		発展科目小計(56科目)			30	80	0		—	
	演習実習科目	人間教育学演習	人間教育実践力開発演習Ⅰ	1通年		1			○	
			人間教育実践力開発演習Ⅱ	2通年		1			○	
			人間教育実践力開発演習Ⅲ	3通年		1			○	
			人間教育実践力開発演習Ⅳ	4通年		1			○	
			小計(4科目)	—		0	4	0	—	
		教育実践実習	教育実習事前事後指導(幼)	4通年		1				○
			教育実習Ⅰ(幼)	4前		2				○
			教育実習Ⅱ(幼)	4前		2				○
			教育実習事前事後指導(小)	3通年	1					○
			教育実習Ⅰ(小)	3前	2					○
			教育実習Ⅱ(小)	3前	2					○
			教育実習事前事後指導(中・高)	4通年		1				○
			教育実習Ⅰ(中・高)	4前		2				○
			教育実習Ⅱ(中)	4前		2				○
			教職実践演習(幼・小)	4後	2					○
			教職実践演習(中・高)	4後		2				○
			小計(11科目)	—	7	12	0		—	

専門科目	演習実習科目	ゼミナール	基礎ゼミナールⅠ	1通年	2				○	
			基礎ゼミナールⅡ	2通年	2				○	
			人間教育学ゼミナールⅠ（基礎）	3通年		4			○	
			人間教育学ゼミナールⅡ（応用）	4通年		4			○	
			卒業研究	4後		4			○	
			小計（ 5科目）	—	4	12	0	—		
演習実習科目小計（20科目）				11	28	0	—			
専門科目小計（小計120科目）				71	165	0	—			
関連科目	学校図書館司書取得	学校経営と学校図書館	4後		2		○			
		学校図書館メディアの構成	4前		2		○			
		学習指導と学校図書館	4前		2		○			
		読書と豊かな人間性	4後		2		○			
		情報メディアの活用	4後		2		○			
	日本語教師資格	言語学概論	4前		2		○			
		社会言語学	3前		2		○			
		日本事情	3後		2		○			
		日本語教育入門	3後		2		○			
		日本語教育指導法・教材研究	4前		2		○			
		日本語教育実習事前事後指導	4前		1				○	
		日本語教育実習(国内又は海外)	4前		2				○	
	関連科目小計（ 12科目）			—	0	23	0	—		
合計（ 185科目）			—	81	262	0	—			

【人間教育学部カリキュラム表 H28 年度～H29 年度】

【表 1】

人間教育学部 人間教育学科								
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
共通教育科目	英語Ⅰ	1・2・3・4前	1			○		
	英語Ⅱ	1・2・3・4後	1			○		
	英会話Ⅰ	1・2・3・4前	1				○	
	英会話Ⅱ	1・2・3・4後	1				○	
	中国語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	中国語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	中国語会話	1・2・3・4後		1			○	
	日本語Ⅰ	1・2・3・4前		1		○		
	日本語Ⅱ	1・2・3・4後		1		○		
	日本語表現Ⅰ	1・2・3・4前		1			○	
	日本語表現Ⅱ	1・2・3・4後		1			○	
	文学	1・2・3・4前		2		○		
	哲学	1・2・3・4前		2		○		
	倫理学	1・2・3・4後		2		○		
	心理学	1・2・3・4後		2		○		
	行動科学の基礎	1・2・3・4前		2		○		
	文化人類学	1・2・3・4前		2		○		
	感性・イメージ表現	1・2・3・4後		2		○		
	音楽の世界	1・2・3・4前		2		○		
	社会学	1・2・3・4前		2		○		
	社会科学の基礎	1・2・3・4後		2		○		
	日本国憲法	1・2・3・4後	2			○		
	外国史	1・2・3・4前		2		○		
	地理学	1・2・3・4前		2		○		
	数学の世界	1・2・3・4前		2		○		
	物理と地学の基礎	1・2・3・4後		2		○		
	環境化学の基礎	1・2・3・4前		2		○		
	実験と科学	1・2・3・4前		2		○		
	健康スポーツ(理論)	1・2・3・4前	1			○		
	健康スポーツ(実技)	1・2・3・4後	1					○
	スポーツ実技Ⅰ	1・2・3・4前		1				○
	スポーツ実技Ⅱ	1・2・3・4後		1				○
	共生と日本社会	1・2・3・4前		2		○		
	人権論	1・2・3・4後		2		○		
	ボランティア活動	1・2・3・4後		2		○		
	生活と環境	1・2・3・4後		2		○		
	奈良・国際科目	奈良学		2		○		
	文化コミュニケーション	1・2・3・4前		2		○		
	文化芸術交流論	1・2・3・4前		2		○		
	文化芸術交流演習	1・2・3・4後		1			○	
	国際経済事情	1・2・3・4前		2		○		
	情報教育科目	情報機器の操作	2			○		
	情報倫理とセキュリティ	1・2・3・4後		2		○		
	シミュレーションの世界	1・2・3・4後		2		○		
	データの世界	1・2・3・4後		2		○		
	C G の基礎と演習	1・2・3・4前		2		○		
	キャリア形成科目	キャリアデザインⅠ		1			○	
	キャリアデザインⅡ	1後		1			○	
	キャリアディベロップメントⅠ	2前		1			○	
	キャリアディベロップメントⅡ	2後		1			○	
	キャリアスキルアップⅠ	3前		1			○	
	キャリアスキルアップⅡ	3後		1			○	
	インターンシップ	3後		2				○
共通教育科目小計（53科目）		—	10	74	0	—		

専門科目	基礎科目	教育学の基礎に関する理解	教育心理学A（初等）	2前	2			○			
			教育心理学B（中等）	2前		2		○			
			発達心理学A（初等）	1前		2		○			
			発達心理学B（中等）	1前		2		○			
			保育の心理学Ⅰ	3前		2		○			
			保育の心理学Ⅱ	3後		1			○		
			教育行政学A（初等）	2前	2			○			
			教育行政学B（中等）	2後		2		○			
			教職入門A（初等）	1前	2			○			
			教職入門B（中等）	1前		2		○			
			保育者論	2後		2		○			
			教育原理A（初等）	1後	2			○			
			教育原理B（中等）	1後		2		○			
			保育原理	1後		2		○			
			学力と評価	2前		2		○			
			言葉の理解	2前	2			○			
			社会の理解	1後	2			○			
			数の理解	1後	2			○			
			自然の理解	2後	2			○			
			生活の理解	1後	2			○			
			音楽の理解	1前	2			○			
			美術の理解	1前	2			○			
			衣食住の理解	2前		2		○			
			運動・健康の理解	2前	2			○			
			書写演習(小)	2後		2			○		
			器楽演習Ⅰ(鍵盤楽器)	1前		2			○		
			器楽演習Ⅱ(鍵盤楽器)	2後		2			○		
			器楽演習Ⅲ(パーカッション)	1前		2			○		
			器楽演習Ⅳ(パーカッション)	1後		2			○		
			行動の科学	2後		2			○		
			食の心理	2後		2			○		
			国語学入門	2前		2			○		
			国語学Ⅰ	2後		2			○		
			国文学入門	2前		2			○		
			国文学Ⅰ	2後		2			○		
			漢文学入門	2前		2			○		
			漢文学Ⅰ	2後		2			○		
			書写・書道入門	1後		2			○		
			書写・書道Ⅰ	2前		2			○		
	小計（ 39科目）		24	53	0	－					
	人間教育学の基礎に関する理解	人間教育学の基礎に関する理解	人間教育学Ⅰ(入門)	1前	2			○			
			人間教育学Ⅱ(応用)	2前	2			○			
			ことばとコミュニケーション	1後		2		○			
			教育と日本の伝統文化入門	1後	2			○			
			教育と日本の伝統文化演習	2前		1			○		
			異文化コミュニケーション	2前		2		○			
			英米文学	2前		2		○			
			英語とテレビに見る異文化	2後		2		○			
			コミュニティと音楽文化	2後		2		○			
			小計（ 9科目）	－	6	11	0	－			
	基礎科目小計（ 48科目）				30	64	0	－			
	発展科目	現代教育・教育経営に関する理解	現代教育論	2後		2			○		
			現代教育課題A(不登校・いじめ)	3前		2			○		
			現代教育課題B(特別支援)	3前		2			○		
			現代教育課題C(学校と安全)	3後		2			○		
			現代教育課題D(学校における異文化理解)	3後		2			○		
			幼児理解	2前		2			○		
			保育相談支援	2後		2			○		
			教育相談の理論と方法A（初等）	3後	2				○		
			教育相談の理論と方法B（中等）	3後		2			○		
			小計（9科目）		2	16	0	－			

専門科目	発展科目	教育実践の理解	保育課程総論	2後		2		○		
			保育内容総論	2前					○	
			子どもと健康	2後		2		○		
			子どもと人間関係	2後		2		○		
			子どもと環境	2前		2		○		
			子どもと言葉	2前		2		○		
			子どもと表現(体育)	2前		2		○		
			子どもと表現(図工)	2後		2		○		
			子どもと表現(音楽)	2後		2		○		
			表現演習	3前		2			○	
			保育内容Ⅰ（健康・人間関係）	3前		2			○	
			保育内容Ⅱ（環境）	3前		2			○	
			保育内容Ⅲ（言葉・表現）	3後		2			○	
			教育課程論A（初等）	3前	2			○		
			教育課程論B（中等）	3前		2		○		
			道德教育の指導法A（初等）	3後	2			○		
			道德教育の指導法B（中等）	3前		2		○		
			教育方法・技術論A（初等）	3後	2			○		
			教育方法・技術論B（中等）	3後		2		○		
			特別活動の指導法A（初等）	2前	2			○		
			特別活動の指導法B（中等）	2後		2		○		
			生徒指導・進路指導論A（初等）	2前	2			○		
			生徒指導・進路指導論B（中等）	2後		2		○		
			国語科指導法	3前	2			○		
			社会科指導法	2前	2			○		
			算数科指導法	2前	2			○		
			理科指導法	3前	2			○		
			生活科指導法	2後	2			○		
			音楽科指導法	2後	2			○		
			器楽・歌唱の指導法	3後		2			○	
			図工科指導法	2後	2			○		
			家庭科指導法	3後	2			○		
			体育科指導法	3前	2			○		
			体育実技の指導法	3後		2			○	
			総合的な学習の時間	2後		2		○		
			小学校外国語活動の指導法	2後		2			○	
			国語学Ⅱ	3前		2		○		
			国語学特論	4前		2		○		
			語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)	3後		2			○	
			国文学Ⅱ	3前		2		○		
			国文学特論	4前		2		○		
			語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)	3後		2			○	
			漢文学Ⅱ	3前		2		○		
			漢文学特論	4前		2		○		
			語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)	3後		2			○	
			書写・書道Ⅱ	3前		2			○	
			国語科教育法Ⅰ	2後		2		○		
			国語科教育法Ⅱ	3前		2		○		
			国語科教育法Ⅲ	3前		2		○		
			国語科教育法Ⅳ	3後		2		○		
				小計（50科目）	－	28	70	0	－	
リ教 ア職 形キ 成ヤ	教職表現力演習Ⅰ	1通年		1			○			
	教職表現力演習Ⅱ	2通年		1			○			
	小計（2科目）	－	0	2	0	－				
発展科目小計（61科目）			30	88	0	－				

専門科目	人間教育 学 演習	人間教育実践力開発演習Ⅰ	1通年		1			○			
		人間教育実践力開発演習Ⅱ	2通年		1			○			
		人間教育実践力開発演習Ⅲ	3通年		1			○			
		人間教育実践力開発演習Ⅳ	4通年		1			○			
		小計（ 4科目）	—	0	4	0	—				
	演習実習科目	教育実践実習	保育所実習Ⅰ	3前		2				○	
			施設実習Ⅰ	3前		2				○	
			保育実習指導Ⅰ	3前		2			○		
			保育所実習Ⅱ	3後		2				○	
			施設実習Ⅱ	3後		2				○	
			保育実習指導Ⅱ	3後		1			○		
			保育実習指導Ⅲ	4前		1			○		
			教育実習事前事後指導(幼)	4通年		1				○	
			教育実習Ⅰ(幼)	4前		2				○	
			教育実習Ⅱ(幼)	4前		2				○	
			教育実習事前事後指導(小)	3通年	1					○	
			教育実習Ⅰ(小)	3前	2					○	
			教育実習Ⅱ(小)	3前	2					○	
			教育実習事前事後指導(中・高)	4通年		1				○	
			教育実習Ⅰ(中・高)	4前		2				○	
			教育実習Ⅱ(中)	4前		2				○	
			保育実践演習	4前		2				○	
			教職実践演習(幼・小)	4後	2					○	
			教職実践演習(中・高)	4後		2				○	
			小計（19科目）	—	7	26	0	—			
	演習実習科目	ゼミナール	基礎ゼミナールⅠ	1通年	2				○		
			基礎ゼミナールⅡ	2通年	2					○	
			人間教育学ゼミナールⅠ(基礎)	3通年		4				○	
			人間教育学ゼミナールⅡ(応用)	4通年		4				○	
			卒業研究	4後		4				○	
			小計（ 5科目）	—	4	12	0	—			
	演習実習科目小計（28科目）			11	42	0	—				
	専門科目小計（小計137科目）			71	194	0	—				
関連科目	学校図書館司書 教諭免許取得	学校経営と学校図書館	4後		2			○			
		学校図書館メディアの構成	4前		2				○		
		学習指導と学校図書館	4前		2				○		
		読書と豊かな人間性	4後		2				○		
		情報メディアの活用	4後		2				○		
	日本語教師資格	言語学概論	4前		2				○		
		社会言語学	3前		2				○		
		日本事情	3後		2				○		
		日本語教育入門	3後		2				○		
		日本語教育指導法・教材研究	4前		2				○		
		日本語教育実習事前事後指導	4前		1					○	
		日本語教育実習(国内又は海外)	4前		2					○	
	幼児保育	児童家庭福祉	3前		2				○		
		社会福祉	2前		2				○		
		相談援助	3後		1					○	
		社会的養護	3後		2				○		
		子どもの保健Ⅰ	3通年		4				○		
		子どもの保健Ⅱ	4前		1					○	
		子どもの食と栄養	2前		2					○	
		家庭支援論	3後		2				○		
		乳児保育	1後		2					○	
		障害児保育	3前		2					○	
		社会的養護内容	4前		1					○	
		保育相談	3後		1					○	
関連科目小計（ 24科目）		—	0	41	0	—					
合計（ 214科目）		—	81	309	0	—					

(保育士資格)										
告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					配当	開講時期
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数				
						必修	選択	計		
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	日本国憲法	講義	2		2	1	後期
				情報機器の操作	講義	2		2	1	前期
				キャリアデザインⅠ	演習		1	1	1	前期
				キャリアデザインⅡ	演習		1	1	1	後期
				キャリアディベロップメントⅠ	演習		1	1	2	前期
				キャリアディベロップメントⅡ	演習		1	1	2	後期
				キャリアスキルアップⅠ	演習		1	1	3	前期
				キャリアスキルアップⅡ	演習		1	1	3	後期
	外国語	演習	2以上	英会話Ⅰ	演習	1		1	1	前期
				英会話Ⅱ	演習	1		1	1	後期
体 育	講義	1	健康スポーツ（理論）	講義	1		1	1	前期	
	実技	1	健康スポーツ（実技）	実技	1		1	1	後期	
合 計		10単位以上				8	6	14		
				14単位（≧10単位）						
告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					配当	開講時期
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数				
						必修	選択	計		
的保に育のする本質科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2		2	1	不開講
	教育原理	講義	2	教育原理A（初等）	講義	2		2	1	後期
	児童家庭福祉	講義	2	児童家庭福祉	講義	2		2	3	前期
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2		2	2	前期
	相談援助	演習	1	相談援助	演習	1		1	3	不開講
	社会的養護	講義	2	社会的養護	講義	2		2	3	後期
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2		2	2	後期
保に育のする対象の科目理解	保育の心理学Ⅰ	講義	2	保育の心理学Ⅰ	講義	2		2	3	前期
	保育の心理学Ⅱ	演習	1	保育の心理学Ⅱ	演習	1		1	3	後期
	子どもの保健Ⅰ	講義	4	子どもの保健Ⅰ	講義	4		4	3	通年
	子どもの保健Ⅱ	演習	1	子どもの保健Ⅱ	演習	1		1	4	—
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2		2	2	前期
	家庭支援論	講義	2	家庭支援論	講義	2		2	3	後期
法保に育のする内容・目方	保育課程論	講義	2	保育課程総論	講義	2		2	2	後期
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	1		1	2	前期
	保育内容演習	演習	5	保育内容Ⅰ（健康・人間関係）	演習	2		2	3	不開講
				保育内容Ⅱ（環境）	演習	2		2	3	不開講
				保育内容Ⅲ（言葉・表現）	演習	2		2	3	不開講
	乳児保育	演習	2	乳児保育	演習	2		2	1	不開講
	障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	2		2	3	不開講
	社会的養護内容	演習	1	社会的養護内容	演習	1		1	4	—
	保育相談支援	演習	1	保育相談	演習	1		1	3	不開講
保育の表現技術	保育の表現技術	演習	4	表現演習	演習	2		2	3	不開講
				器楽演習Ⅰ（鍵盤楽器）	演習	2		2	1	前期
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育所実習Ⅰ	実習	2/4		2/4	3	未定
				施設実習Ⅰ	実習	2/4		2/4	3	未定
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	2		2	3	未定
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育実践演習	演習	2		2	4	—
合 計		51単位				52		52		
				52単位（≧51単位）						

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					配当	開講時期	
系列	教科目	授業形態	単位数	左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数					
						必修	選択	計			
保育の本質・科目に関する科目	各指定保育士養成施設において設定			教職入門A（初等）	講義	2		2	1	前期	
				教育行政学A（初等）	講義	2		2	2	後期	
				人間教育学Ⅰ（入門）	講義	2		2	1	前期	
				人間教育学Ⅱ（応用）	講義	2		2	2	前期	
保育の対象の科目に関する科目			15	教育心理学A（初等）	講義	2		2	2	前期	
				発達心理学A（初等）	講義	2		2	1	前期	
			単	幼児理解	講義		2	2	2	後期	
				保育相談支援	講義		2	2	2	後期	
保育の内容・方法に関する科目			以	子どもと健康	講義		2	2	2	不開講	
				子どもと人間関係	講義		2	2	2	後期	
			上	子どもと環境	講義		2	2	2	前期	
				子どもと言葉	講義		2	2	2	前期	
				子どもと表現（体育）	講義		2	2	2	不開講	
		子どもと表現（図工）	講義		2	2	2	後期			
		子どもと表現（音楽）	講義		2	2	2	後期			
		教育方法・技術論A（初等）	講義	2		2	3	後期			
保育の技術・表現		音楽科指導法	講義	2		2	2	後期			
		器楽・歌唱の指導法	演習		2	2	3	後期			
		図工科指導法	講義	2		2	2	後期			
		体育実技の指導法	講義		2	2	3	後期			
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育所実習Ⅱ	実習	2		2	3	後期	
		施設実習Ⅱ		実習		2	2	3	後期		
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習	1		1	3	後期	
		保育実習指導Ⅲ		演習		1	1	4	—		
合 計		18単位以上			21	25	46				
					46単位（≧18単位）						
保育士資格取得科目ではないが、 学校独自の科目として開設されている教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					配当	開講時期	
				左に対応して開設されている教科目	授業形態	単位数					
						必修	選択	計			
				衣食住の理解	講義		2	2	2	2	前期
				行動の科学	講義		2	2	2	2	不開講
				食の心理	講義		2	2	2	2	前期
				ことばとコミュニケーション	講義		2	2	1	後期	
				英語とテレビに見る異文化	講義		2	2	2	不開講	
				生活科指導法	講義	2		2	2	後期	
				家庭科指導法	講義	2		2	3	後期	
				体育科指導法	講義	2		2	3	前期	
合 計						6	10	16			

●

2	
---	--

[illegible]

--	--

【保健医療学部カリキュラム表 H30 年度～】

【表 1】

保健医療学部看護学科

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
共通教育科目	英語Ⅰ	1前	1				○	
	英語Ⅱ	1後	1				○	
	英会話Ⅰ	1前	1				○	
	英会話Ⅱ	1後	1				○	
	中国語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1			○	
	中国語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1			○	
	中国語会話	1・2・3・4前		1			○	
	スペイン語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1			○	
	スペイン語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1			○	
	スペイン語会話	1・2・3・4前		1			○	
	文学	1・2・3・4後		2		○		
	哲学	1・2・3・4前		2		○		
	倫理学	1・2・3・4前		2		○		
	心理学	1・2・3・4前		2		○		
	行動の科学	1・2・3・4後		2		○		
	文化人類学	1・2・3・4後		2		○		
	音楽の世界	1・2・3・4後		2		○		
	社会学	1・2・3・4後		2		○		
	日本国憲法	1・2・3・4前		2		○		
	歴史学	1・2・3・4後		2		○		
	地理学	1・2・3・4後		2		○		
	数学の世界	1・2・3・4前		2		○		
	自然科学の基礎	1・2・3・4後		2		○		
	環境化学の基礎	1・2・3・4後		2		○		
	健康スポーツ（理論）	1前	1			○		
	健康スポーツ（実技）	1・2・3・4後		1				○
	スポーツ実技Ⅰ	1・2・3・4前		1				○
	スポーツ実技Ⅱ	1・2・3・4後		1				○
	共生と社会	1・2・3・4後		2		○		
	人権論	1・2・3・4前		2		○		
	ボランティア活動	1・2・3・4前		2		○		
	生活と環境	1・2・3・4前		2		○		
	奈良学	1・2・3・4前		2		○		
	異文化コミュニケーション	1・2・3・4後		2		○		
	国際事情	1・2・3・4後		2		○		
	情報機器の操作	1前	2			○		
	情報倫理とセキュリティ	1・2・3・4前		2		○		
	データの世界	1・2・3・4前		2		○		
	CGの基礎と演習	1・2・3・4後		2		○		
	情報と分析	1・2・3・4後		2		○		
	キャリアデザインⅠ	1前		1			○	
	キャリアデザインⅡ	1後		1			○	
	キャリアディベロップメントⅠ	2前		1			○	
	キャリアディベロップメントⅡ	2後		1			○	
	基礎演習Ⅰ（ラーニングスキルズ）	1前	1				○	
	基礎演習Ⅱ（文章表現）	1後	1				○	
	共通教育科目小計（46科目）	—	9	63	0	—		

専門基礎科目	人間の理解	人体構造機能学Ⅰ	1前	2			○		
		人体構造機能学Ⅱ	1前	2			○		
		発達心理学	1前	2			○		
		生化学	1前	1			○		
		栄養学	1前	1			○		
		微生物学	1前	1			○		
		免疫学	1前	1			○		
	環境の理解	疫学	2後	2			○		
		公衆衛生学	1後	1			○		
		社会福祉学	1前	1			○		
		医療福祉関係法規	1前	1			○		
		保健医療福祉行政論	2後	2			○		
		保健統計	2後		2		○		
	健康の理解	保健医療学概論	1前	1			○		
		病理学	1前	1			○		
		疾病治療論Ⅰ（呼吸器・循環器・血液造血器系）	1後	1			○		
		疾病治療論Ⅱ（消化器・内分泌・腎尿路系）	1後	1			○		
		疾病治療論Ⅲ（免疫・神経系）	1後	1			○		
		疾病治療論Ⅳ（感覚器・運動器系）	1後	1			○		
		疾病治療論Ⅴ（生殖器系・精神疾患）	2前	1			○		
		疾病治療論Ⅵ（老年医学）	2前	1			○		
		小児疾病治療論	2前	1			○		
		栄養治療論	2後	1			○		
		薬理学	1後	2			○		
		リハビリテーション論	2後	1			○		
	基礎科目小計（25科目）			30	2	0	－		
専門科目	看護の考え方と方法	看護学概論	1前	2			○		
		看護倫理学	1前	1			○		
		看護コミュニケーション論	1前	1			○		
		基礎看護技術演習Ⅰ	1前	2				○	
		基礎看護技術演習Ⅱ	1後	2				○	
		看護理論	1後	1			○		
		看護過程演習	2前	1				○	
		ヘルスアセスメント	2前	1			○		
		保健医療倫理学	1後	1			○		
		基礎看護学実習Ⅰ	1前	1					○
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	2					○
		成人看護学概論	1後	2			○		
		成人看護援助論Ⅰ（急性期・周手術期）	2前	1			○		
		成人看護援助論Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）	2後	1			○		
		成人看護援助論演習	3前	2				○	
		老年看護学概論	2前	1			○		
		老年看護援助論	2後	1			○		
		老年看護援助論演習	3前	1				○	
		小児看護学概論	2前	2			○		
		小児看護援助論	2後	1			○		
		小児看護援助論演習	3前	1				○	
		母性看護学概論	2前	2			○		
		母性看護援助論	2後	1			○		
		母性看護援助論演習	3前	1				○	
		精神看護学概論	2前	1			○		
		精神看護援助論	2後	1			○		
		精神看護援助論演習	3前	1				○	
		成人看護学実習Ⅰ（急性期・周手術期）	3後	3					○
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）	3後	3					○
		老年看護学実習Ⅰ	3後	1					○
		老年看護学実習Ⅱ	3後	3					○
		小児看護学実習	3後	2					○
		母性看護学実習	3後	2					○
		精神看護学実習	3後	2					○
		ターミナルケア論	4前		1		○		
		感染看護	4前		1		○		
		家族看護学	4前		1		○		
		ペインコントロール論	4前		1		○		

専門科目	看護学の統合と発展	在宅看護学概論	2前	1			○			
		在宅看護援助論	2後	2			○			
		在宅看護援助論演習	3前	1				○		
		在宅看護学実習	3後	2					○	
		看護管理学	4前	2			○			
		チーム医療論	4前	1			○			
		チーム医療論演習	4後		1			○		
		統合看護論	4後	2			○			
		統合看護実習	4前	2					○	
		国際看護論	4前	1			○			
		国際看護論演習	4後		1			○		
		地域包括ケア論	4後		1		○			
		災害看護学	4後		1		○			
		看護教育学	4後		1		○			
		カウンセリング論	4後		1		○			
		卒業研究Ⅰ	4前	1			○			
		卒業研究Ⅱ	4前後	1				○		
		公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2前	2			○		
			公衆衛生看護学方法論Ⅰ	3前		2		○		
	公衆衛生看護学方法論Ⅱ		3前		2		○			
	公衆衛生看護学Ⅰ(地域活動)		2後	2			○			
	公衆衛生看護学Ⅱ(学校保健)		3前		2		○			
	公衆衛生看護学Ⅲ(産業保健)		3前	2			○			
	公衆衛生看護学実習Ⅰ(地域活動)		4前後		3				○	
	公衆衛生看護学実習Ⅱ(学校保健)		4前後		1				○	
	公衆衛生看護学実習Ⅲ(産業保健)		4前後		1				○	
	公衆衛生看護学診断演習		4前		2			○		
	助産学	助産学概論	3前		2		○			
		ウィメンズヘルス学	3前		2		○			
		周産期医学	3前		1		○			
		助産診断・技術学Ⅰ	3前		2		○			
		助産診断・技術学Ⅱ	3後		2		○			
		助産診断・技術学Ⅲ	3後		2		○			
		助産診断・技術学演習Ⅰ	3後		1			○		
		助産診断・技術学演習Ⅱ	4前		1			○		
		助産学実習Ⅰ	4前後		2				○	
		助産学実習Ⅱ	4前後		4				○	
		助産学実習Ⅲ	4前後		4				○	
		助産学実習Ⅳ	4前後		1				○	
		地域母子保健	4前		1		○			
		助産管理論	4前		2		○			
	専門科目小計（79科目）			—	73	50	0	—		
合計（150科目）			—	112	115	0	—			

【保健医療学部カリキュラム表 H26 年度～H29 年度】

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・
共通教育科目	英語Ⅰ	1前	1				○	
	英語Ⅱ	1後	1				○	
	英会話Ⅰ	1前	1				○	
	英会話Ⅱ	1後	1				○	
	中国語基礎Ⅰ	1・2・3・4前		1			○	
	中国語基礎Ⅱ	1・2・3・4後		1			○	
	中国語会話	1・2・3・4前		1			○	
	日本語Ⅰ	1前		1			○	
	日本語Ⅱ	1後		1			○	
	日本語表現Ⅰ	2前		1			○	
	日本語表現Ⅱ	2後		1			○	
	文学	1・2・3・4後		2		○		
	哲学	1・2・3・4前		2		○		
	倫理学	1・2・3・4前		2		○		
	心理学	1・2・3・4前		2		○		
	行動科学の基礎	1・2・3・4後		2		○		
	文化人類学	1・2・3・4後		2		○		
	感性・イメージ表現	1・2・3・4後		2		○		
	音楽の世界	1・2・3・4後		2		○		
	社会学	1・2・3・4後		2		○		
	社会科学の基礎	1・2・3・4前		2		○		
	日本国憲法	1・2・3・4前		2		○		
	外国史	1・2・3・4後		2		○		
	地理学	1・2・3・4後		2		○		
	数学の世界	1・2・3・4前		2		○		
	物理と地学の基礎	1・2・3・4前		2		○		
	環境化学の基礎	1・2・3・4後		2		○		
	実験と科学	1・2・3・4後		2		○		
	健康スポーツ（理論）	1・2・3・4前	1			○		
	健康スポーツ（実技）	1・2・3・4後	1					○
	スポーツ実技Ⅰ	1・2・3・4前		1				○
	スポーツ実技Ⅱ	1・2・3・4後		1				○
	共生と日本社会	1・2・3・4後		2		○		
	人権論	1・2・3・4前		2		○		
	ボランティア活動	1・2・3・4前		2		○		
	生活と環境	1・2・3・4前		2		○		
	奈良学	1・2・3・4前	2			○		
	文化コミュニケーション	1・2・3・4後		2		○		
	文化芸術交流論	1・2・3・4前		2		○		
	文化芸術交流演習	1・2・3・4後		1			○	
	国際経済事情	1・2・3・4後		2		○		
	情報機器の操作	1・2・3・4前	2			○		
	情報倫理とセキュリティ	1・2・3・4前		2		○		
	シミュレーションの世界	1・2・3・4後		2		○		
	データの世界	1・2・3・4前		2		○		
	C G の基礎と演習	1・2・3・4後		2		○		
	キャリアデザインⅠ	1前		1			○	
	キャリアデザインⅡ	1前		1			○	
	キャリアディベロップメントⅠ	2前		1			○	
	キャリアディベロップメントⅡ	2前		1			○	
	キャリアスキルアップⅠ	3前		1			○	
	キャリアスキルアップⅡ	4前		1			○	
	小計（52科目）	—	10	72	0	—	—	—

専 門 科 目	健 康 の 理 解	保健医療学概論	1前	1			○		
		早期体験演習	1前	1				○	
		人体構造学Ⅰ	1前	1			○		
		人体構造学Ⅱ	1後	1			○		
		人体機能学Ⅰ	1前	1			○		
		人体機能学Ⅱ	1後	1			○		
		生化学	1前	1			○		
		薬理学	1後	2			○		
		免疫学	2前		1		○		
		病理学	1後	1			○		
		微生物学	1後	1			○		
		遺伝学	2前		1		○		
		栄養と食生活	1前	1			○		
		疾病治療論Ⅰ	2前	1			○		
		疾病治療論Ⅱ	2後	2			○		
		保健学Ⅰ（公衆衛生）	2前	1			○		
		保健学Ⅱ（疫学）	2後	2			○		
		保健統計	3前		2		○		
		心身医療論	2後		1		○		
		カウンセリング論	2後		1		○		
		ヘルスプロモーション論	2前		2		○		
		社会福祉学	2前	1			○		
		医療福祉関係法規	2前	2			○		
		保健医療福祉行政論	3前		2		○		
		小計（24科目）	—	21	10	0	—		
専 門 科 目	看 護 学 の 基 本	看護学概論	1前	2			○		
		基礎看護技術演習Ⅰ	1後	2				○	
		基礎看護技術演習Ⅱ	2前	2				○	
		基礎看護技術演習Ⅲ	2前	1				○	
		看護理論	1後	1			○		
		看護過程演習	2前	1				○	
		ヘルスアセスメント	2前	1			○		
		チーム医療論	1後	1			○		
		保健医療倫理学	1後	1			○		
		基礎看護学実習Ⅰ	1後	1					○
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	2					○
専 門 科 目	看 護 学 の 展 開	成人看護学概論	2前	2			○		
		成人看護学援助論Ⅰ（急性期・周手術期）	2後	2			○		
		成人看護学援助論Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）	3前	2			○		
		老年看護学概論	2後	2			○		
		老年看護学援助論	3前	2			○		
		小児看護学概論	2後	2			○		
		小児看護学援助論	3前	2			○		
		母性看護学概論	2後	2			○		
		母性看護学援助論	3前	2			○		
		精神看護学概論	2後	2			○		
		精神看護学援助論	3前	2			○		
		成人看護学実習Ⅰ（急性期・周手術期）	3後	3					○
		成人看護学実習Ⅱ（慢性期・回復期・終末期）	3後	3					○
		老年看護学実習Ⅰ	3後	2					○
		老年看護学実習Ⅱ	3後	2					○
		小児看護学実習	3後	2					○
		母性看護学実習	3後	2					○
		精神看護学実習	3後	2					○
専 門 科 目	看 護 学 の 統 合 と 発 展	在宅看護学概論	2後	2			○		
		在宅看護学援助論	3前	2			○		
		在宅看護学実習	3後	2					○
		家族援助論	2前		1		○		
		行動変容アプローチ	3前		1			○	
		チーム医療演習	4後	1				○	
		感染症看護論	4前		1		○		
		災害看護論	4後		1		○		
		ターミナルケア論	4後		1		○		
		医療安全管理学	4後	1			○		
		看護キャリア開発論	4後		1		○		
		保健医療英語Ⅰ	2後		1			○	
		保健医療英語Ⅱ（文献講読）	4前		1			○	
		国際保健医療看護論	4前	1			○		
		国際保健医療看護演習	4前		1			○	
		統合看護学実習	4前	2					○
		卒業研究Ⅰ	4前	1			○		
		卒業研究Ⅱ	4前後	1				○	

専 門 科 目	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学概論	2前	2		○			
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ	3前	2		○			
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ	3前	2		○			
		公衆衛生看護学Ⅰ（地域活動）	2後	2		○			
		公衆衛生看護学Ⅱ（学校保健）	3前	2		○			
		公衆衛生看護学Ⅲ（産業保健）	3前	2		○			
		公衆衛生看護学実習Ⅰ（地域活動）	4通	3				○	
		公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校保健）	4前	1				○	
		公衆衛生看護学実習Ⅲ（産業保健）	4前	1				○	
		公衆衛生看護学診断演習	4前	2			○		
	助産学	助産学概論	3前		2		○		
		ウイメンズヘルス学	3前		2		○		
		周産期医学	3前		1		○		
		助産診断・技術学Ⅰ	3前		2		○		
		助産診断・技術学Ⅱ	3通		2		○		
		助産診断・技術学Ⅲ	3通		2		○		
		助産診断・技術学演習	4前		2			○	
		助産診断・技術学実習Ⅰ	4通		3				○
		助産診断・技術学実習Ⅱ	4通		2				○
		助産診断・技術学実習Ⅲ	4通		3				○
		助産診断・技術学実習Ⅳ	4通		3				○
		地域母子保健	4前		1		○		
		助産管理論	4前		2		○		
	小計（76科目）		—	72	49	0	—		
合計（146科目）		—	103	131	0				

[illegible]

奈良学園大学大学院 看護学研究科 看護学専攻（修士課程） 履修モデル（3年課程）									
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

地域医療を支える質の高い看護実践者の育成

【看護学研究科看護学専攻カリキュラム表】

別表第1

看護学研究科看護学専攻

科目区分		授業科目の名称	単位数	
			必修	選択
基盤科目		国際医療特論	2	
		国際看護特論		2
		ヘルスプロモーション特論		2
		看護倫理特論	2	
		コンサルテーション論		2
		看護理論特論		2
		看護教育学特論		2
		看護管理学特論		2
		臨床薬理学		2
		病態生理学		2
		フィジカルアセスメント		2
		看護研究特論	2	
専門科目	在宅看護学 分野	在宅看護学特論Ⅰ（在宅看護学）		2
		在宅看護学特論Ⅱ（慢性期）		2
		在宅看護学特論Ⅲ（回復支援）		2
		在宅看護学特論Ⅳ（地域包括支援）		2
		在宅看護学特論演習		2
	育成看護学 分野	育成看護学特論Ⅰ（発達支援）		2
		育成看護学特論Ⅱ（次世代育成支援）		2
		育成看護学特論Ⅲ（リプロダクティブヘルス・ケア）		2
		育成看護学特論Ⅳ（家族支援）		2
		育成看護学特論演習		2
	精神看護学 分野（CNS）	精神看護学特論Ⅰ（歴史・法制度）		2
		精神看護学特論Ⅱ（精神・身体状態の評価）		2
		精神看護学特論Ⅲ（精神科治療技法）		2
		精神看護学特論Ⅳ（精神看護理論、援助技法）		2
		地域移行支援精神看護学特論		2
		急性期精神看護学特論		2
		精神看護学演習Ⅰ（精神科治療技法）		2
		精神看護学演習Ⅱ（精神看護理論、援助技法）		2
		精神看護学実習 アセスメント		2
		精神看護専門看護師役割実習		2
		直接ケア実習		4
		上級直接ケア実習		2
研究科目		特別研究		8
		課題研究		4

6. 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

■ 人間教育学部 人間教育学科

共通教育科目		専門科目				関連科目	合 計
必修・選択	小計	基礎必修 必修・選択	発展科目 必修・選択	演習実習科目 必修・選択	小計	選択	
26	26	32(注1)	47(注2)	19	98	(注3)	124

(注1) 専門科目の基礎科目において、卒業に必要な単位数を超えて修得した場合、その超えた単位数は専門科目の発展科目の単位数として認められる。

(注2) 専門科目の発展科目において、卒業に必要な単位数を超えて修得した場合、その超えた単位数は専門科目の演習実習科目の単位数として認められる。

(注3) 関連科目において、修得した単位数は専門科目の単位として認められる。

(注4) 専門科目において、卒業に必要な単位数を超えて修得した場合、その超えた単位数の8単位を限度として、共通教育科目の単位として認められる。

■ 保健医療学部 看護学科

共通教育科目		専門基礎科目	専門科目	専門基礎科目および専門科目	小計	合計
必修・選択	小計	必修	必修	選択		
25	25	30	73	4	107	132

■ 大学院 看護学研究科 看護学専攻

基盤科目	専門科目	研究科目	合計
必修・選択	選択	選択	
12	22	2	36

7. 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

大学名	キャンパス	学部	所在地	主な交通手段
奈良学園大学	三郷 キャンパス	人間教育学部	奈良県生駒郡三郷町立野北三丁目12番1号	JR「三郷駅」より徒歩約15分 JR「三郷駅」より「奈良学園大学」行きバス約3分
	登美ヶ丘 キャンパス	保健医療学部 大学院看護学研究科	奈良県奈良市中登美ヶ丘3丁目15番1号	近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘」駅から西へ約1,000m 近鉄奈良線「学園前」駅から奈良交通バスで約9分「中登美ヶ丘四丁目」下車、東へ約150m

【奈良学園大学 三郷キャンパス】

○キャンパスの概要

館	使用目的	種類	面積 (㎡)	主要施設
1号館	講義棟	講義室	571.19	2階 (201教室) 3階 (301・302教室)
		演習室	49.04	2階 (プロジェクト室2・4)
		研究室	1,345.79	2階 (第1～18研究室) 3階 (第19～47研究室)
		事務室	661.73	1階 理事長室・事務局長室・総務部・財務部・経理課・入試広報課・法人事務局次長室・学校法人奈良学園事務局 2階 監事室・監査室・理事室
2号館	学生厚生棟	食堂	669.54	1階 (カトル・セゾン)
		購買室	288.63	1階 (ヤマザキYショップ)
		談話室	105.03	2階 (国際交流室兼談話室)
		学友会関連室	186.33	3階 (学友会室・公認連合本部会室・資料室・ミーティング室)
		クラブ関連室		
		事務室	296.95	2階 (教務課・社会・国際連携センター・学生支援センター)
5号館	講義棟	事務室	199.07	1階 (キャリアセンター)
		講義室	3,442.26	1階 (516教室) 2階 (521・522・525・527・529・5210～5215教室) 3階 (531～539・5311～5318教室)
		実習室	1,286.61	1階 (511教室 [和室]・512教室 [幼小接続室] 513教室 [理科室]・514教室 [調理室] 515教室 [被服室]・517教室 [図工室])
		PC教室	93.99	2階 (526教室)
		演習室	688.71	演習使用教室 1階 (演習室1・2) (書写・書道演習室) 2階 (演習室3～6) 3階 (演習室9・第12～17演習室)
		研究室	448.03	2階 (第65～78研究室) 3階 (第79～81研究室)
6号館	情報教育棟	PC教室	582.41	1階 (611教室) 2階 (621教室) 3階 (631・632教室)
		演習室	53.26	2階 (演習室1・2)
		研究室	69.29	3階 (第86～88研究室)
		事務室	25.76	法人財務部管理課
7号館	図書館	閲覧室	2,270.24	書棚・書籍検索パソコン席・閲覧 (学習) 席読書室・視聴覚室
		学習室	155.38	グループ学習室・研究個室
		書庫	375.72	地下1・2階 (集密書庫)
		事務室	119.73	図書館事務室・保管室
8号館	スポーツ交流施設棟	スポーツ交流室	470.88	1階 (ミーティング室・トレーニング室) 2階 (ラウンジ・ロッカー室)
		事務室	900	1階 指導者控室
10号館	情報教育棟	講義室	610.32	2階 (1021教室・1022教室) 3階 (1033教室・討論室)
		実習室	381.21	1階 (1014教室 [スタジオ]) 2階 (個人レッスン室1～17・ピアノレッスン室1～3)

		PC 教室	154.00	3 階 (1031A/B)
		演習室	506.40	1 階 (1011 教室 [器楽演習室] ・ 1012 教室 [メディア演習室] プロジェクト室 7) 2 階 (プロジェクト室 8) 3 階 (ML 教室)
		研究室	109.18	第 112～116 研究室

【奈良学園大学 登美ヶ丘キャンパス】

○キャンパスの概要

館	使用目的	種類	面積 (㎡)	主要施設
1 号館	講義棟	講義室	1,520.01	4 階 (401～403 ・ 405～409 教室) 5 階 (504～505 教室)
		実習室	143.56	2 階 (造形教室)
		PC 教室	334.16	5 階 (501 ・ 502 教室 [マルチメディア教室 1 ・ 2])
		演習室	97.63	5 階 (503 教室)
		研究室	633.23	3 階 (第 1～31 研究室・院生研究室)
		事務室	391.14	1 階 (総務課・経理課・入試広報課・教務課・キャリアセンター・ 学生支援センター)
2 号館	講義棟 学生厚生棟	講義室	1302.46	4 階 (2401～2407 教室) 5 階 (2501 ・ 2502 教室)
		実習室	936.48	3 階 (地域・在宅・老年看護学自習室／基礎・成人看護学実習室 母性・小児看護学自習室／助産実習室)
		演習室	427.74	5 階 (演習室 1～10)
		図書室	762.04	1 階 (開架書架・集密書架・図書準備室) 2 階 (開架書架・学習室 1・学習室 2)
		食堂	408.13	2 階

8. 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

学生納付金に関する情報

入学料・授業料・その他の費用							
大 学 名	学 部	入 学 金		授 業 料		(その他の費用) 教 育 充 実 費	
		金 額	納入時期	金 額	納入時期	金 額	納入時期
奈良学園大学	人間教育学部	¥300,000	入学時 (入学試験毎)	【前期】			
				¥425,000	4月30日	¥160,000	4月30日
				【後期】			
				¥425,000	10月31日	¥160,000	10月31日
	保健医療学部	¥300,000	入学時 (入学試験毎)	【前期】			
				¥425,000	4月30日	¥325,000	4月30日
				【後期】			
				¥425,000	10月31日	¥325,000	10月31日
	大学院 看護学研究科 看護学専攻	¥200,000	入学時 (入学試験毎)	【前期】			
				¥217,500	4月30日	¥157,500	4月30日
				【後期】			
				¥217,500	10月31日	¥157,500	10月31日
	学部共通	【奨学金給付制度の概要】 ・奈良学園大学の給付型奨学金制度 一般学生奨学金 スポーツ学生奨学金 私費外国人留学生奨学金 学園内進学者奨学金 ファミリー進学者奨励金 家計急変時支援奨学金 課外活動奨励金 留学支援奨励金 放送大学受講学生奨励金					

※人間教育学部・保健医療学部の主な諸会費(年額)：後援会費25,000円、学友会費5,000円

※人間教育学部・保健医療学部は、編入学定員を設けていないが、若干名の受け入れを行うことがある。

※保健医療学部において、助産師課程を選択する場合は4年次において、実習費年額300,000円を徴収する(納入期限4月30日)

※大学院看護学研究科において、CNSを履修するコース選択者は、2年次において実習費年額100,000円を徴収する(納入期限4月30日)

※大学院看護学研究科において、奈良学園大学卒業生は入学金金額は50,000円となる。

※大学院看護学研究科長期履修学生(3年間)については別に定める。

9. 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

＜学生支援組織＞

項目	組織等	機能
キャリア支援 就職支援	キャリアセンター	資格講座開講、リメディアル教育等 就職指導進路情報の調査、収集、整備及び保管 求人先の開拓及び連絡 就職の斡旋 進路指導(ガイダンス・各種就職関連セミナーの実施、個人面談・相談)
進学支援	キャリアセンター	進学先情報の調査、収集、整備及び保管
修学支援	教員及び教務課	履修登録をはじめとする、学生の修学関連業務全般
生活支援(住居、アルバイト等)	学生支援センター	住居、アルバイト情報の収集、保管、相談及び紹介
経済支援		日本学生支援機構奨学金の相談、各種手続き 奈良学園大学奨学金の相談、手続き
保健・衛生・メンタルヘルス等の健康支援と学生の福利厚生		学生の「心・身体・学び」を支援 分野を横断した幅広い学生相談、健康診断及び保健衛生相談および快適な学び環境の支援

<奈良学園大学 奨学金>

規程	対象学生	種類	型	入学金		授業料				教育充実費				その他
				半額	全額	1/4	半額	3/4	全額	1/4	半額	3/4	全額	
奈良学園大学一般学生奨学金規程	一般学生で学業成績優秀者 入試成績優秀者	一般学生奨学金	I型	※①					○				○	
			II型	※①				○				○		
			III型	※①		○					○			
			IV型	※①	○					○				
			V型	※①										※②
奈良学園大学スポーツ学生奨学金規程	スポーツ等課外活動を行う学生	スポーツ学生奨学金	I型	※①					○				○	
			II型	※①				○				○		
			III型	※①		○					○			
			IV型	※①	○					○				
			V型	※①										※②
奈良学園大学私費外国人留学生奨学金規程	私費外国人留学生	私費外国人留学生奨学金	I型	※③					○				○	
			II型	※③				○				○		
			III型	※③		○					○			
			IV型	※③	○					○				
			V型	※③										※②
奈良学園大学における奈良学園内進学者に対する奨励金内規	学園内進学者	内部進学者奨励金			○									※③
奈良学園大学におけるファミリー進学者に対する奨励金内規	本学を卒業した者及び在籍中の者の直系親族又は兄弟（姉妹を含む）	ファミリー進学者奨励金			○									※③
奈良学園大学家計急変時支援奨励金規程	家計急変のため学業継続に支援を必要とする学生	家計急変時支援奨励金												※④
奈良学園大学課外活動奨励金規程	学長が認める課外活動等を行う学生	課外活動奨励奨励金												※⑤
奈良学園大学留学支援奨励金規程	学長が認める海外留学等を行う学生	留学支援奨励奨励金												※⑥
奈良学園大学における放送大学開講科目受講者に対する奨励金内規	放送大学受講生	放送大学受講生奨励金												※⑦

※① 入学金の相当額を給付することがある。

※② 学長が定めた額を給付する。

※③ 入学金の2分の1以内の額を給付することがある。

※④ 在籍中1回限りで年額30万円以内を給付する。給付期間は最大1年間。

※⑤ 10万円以内を給付する。

※⑥ 10万円以内を給付する。

※⑦ 放送大学の開講する授業科目を受講するために必要な授業料1科目（2単位）11,000円の2分の1の額を、各学期に2科目（4単位）分を上限として単位修得の確認後に給付する。

国などからの借入と卒業した奨学生からの返還金により成り立っている貸与型の奨学金制度

● 奨学金の種類

① 第一種奨学金（無利子）

人物・学業ともに特に優れ、経済的理由により著しく修学に困難な者に貸与することができます。

② 第二種奨学金（有利子で年3%が上限）

人物・学業ともに優れ経済的理由により著しく修学に困難な者に貸与することができます。

● 申請時期

- ・予約採用・・・高校時に申し込み
- ・定期採用・・・毎年4月（平成30年度分は受付終了） ※全学年対象
- ・随時・・・緊急採用（第一種）、応急採用（第二種）

主たる家計支持者の失職・死亡または災害等による家計急変のため、緊急に奨学金の貸与が必要になった場合は、緊急採用（第一種）・応急採用（第二種）がありますので、学生支援センターへご相談ください。

● 貸与月額（平成30年度採用者の場合）

		第一種（無利子）	第二種（有利子）
学部生	自宅通学	54,000 円 (30,000 円選択可)	30,000 円、50,000 円、80,000 円、 100,000 円、120,000 円から選択
	自宅外通学	64,000 円 (30,000 円選択可)	

10. 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

【人間教育学部】

＜教育目標＞

「社会の中で一人の人間」として生き抜く力となる豊かな「人間力」を基盤とする、柔軟な「教育力」と高度な「実践力」を備えた「教育者」（広く社会の教育活動にかかわる人材）の養成を目的とする

＜ポリシー＞

（1）カリキュラムポリシー

- ① 広く豊かな社会的常識をもち、人間的社会的に成熟した人を育てる教育
- ② 教育に対する使命感と情熱をもち、子どもと教育的な関係を築く力をつける教育
- ③ 教育の専門家として各教科の内容及び指導法を実践的に深める教育
- ④ 個々の子どもを理解し一人一人を生かすとともに集団を指導する力を身につける教育
- ⑤ 自己教育力をもち、セルフマネジメント能力と生涯学習能力を身につける教育
- ⑥ 学校内外の人々と連携しチームとして活動できる力を身につける教育
- ⑦ 日本の伝統文化を深く理解し、国際的な感覚を身につける教育

（2）ディプロマポリシー

- ① 広く豊かな社会的常識をもち、人間的社会的に成熟している
- ② 教職に対する使命感をもち、児童生徒に教育的な愛を持って接することができる
- ③ 学校現場の様々な教育課題に適切に対応し、チームとして行動することができる
- ④ 子どもの発達に応じて授業を構想し指導を工夫する教育の専門家である
- ⑤ 自己の学習を振り返り、理論と実践を結びつけた研修を継続的にできる
- ⑥ 保護者や地域の人等、学校外の人等と広く連携する力を身につけている
- ⑦ 日本の伝統文化を深く理解し、国際的な感覚を身につけている

人間教育学部は、人間力・教育力・実践力を備えた義務教育学校教員を養成することを第一の目的にしている。さらに小学校に接続する幼稚園教諭、または中学校・高等学校の基盤となる国語・数学と豊かな感性を育む音楽の教諭を養成することも目的としている。そのために以下のような特徴ある教育課程を編成するとともに、様々な方法で一人ひとりの学生を支援している。

（1）大学生活への適応と支援

入学時に基礎ゼミナールを中心として、学内・学外オリエンテーションを行い、大学に早期に適応できるように、学習面や生活面で個人指導を重視し、少人数のクラス担任制を取り入れている。1年次5月には全員面談を行い、個々の学生の進路も含め、高校から大学への段差の解消に努めている。個々の学生の動向を、学部全教員が毎月の教授会や連絡会等で共通理解し、さらに学力的に不十分な点は個人補習を実施し、特に数学の基礎力をつけている。

大学の学習のルールと規律の徹底化を図り、すべての授業で、授業開始と終了時に全員が起立して教員とともに挨拶を行っている。さらに、各授業で数名のSAを学生から立候補で決定し、授業の進行等で中心的な役割を担っている。

また、授業中に課題を与え提出を必ず全員に求めるなど、学習や苦手なことから逃げずに忍耐強く取り組むような姿勢を身につけさせている。課題を提出できない学生に対し、授業以外に個別に呼び出して、特別に補習を行いサポートしている。

講義では、1年次で初等と中等の両方の教職入門や教育原理や教育心理を設置し、自分自身の進路を考える機会としている。さらに全国で唯一の人間教育学の授業を実施し、個人としてまた社会人としての、今後の生き方について考えさせる場を設けている。

（2）コミュニケーション力育成

1・2年次と2年間を通し、国語の「話す・聞く・読む・書く」の4分野の言語力を取得するため、60コマの「教職表現力演習」の授業を少人数で展開している。学んだ成果を試すための「スピーチコンテスト」「自分新聞作成」等のイベントを実施し、長期間に及ぶ授業を個々の学生が目標を持って取り組める工夫を行っている。表現場面では、

自己評価や相互評価を取り入れ、目標を意識した評価ができる学生を養成している。各授業でも、座学だけでなく活動したことを振り返りそれを文章化することを重視した教員と学生の相互交流のある授業を盛んに行っている。これらの振り返り活動を通して、授業はPDACというサイクルで行われることを学生は体感している。

これは上位年次に課せられるレポートや論文の書き方を学ぶことを目的としており、教師や指導者として児童・生徒の前に立つ際の基本的なコミュニケーションの基礎の養成と定着を図るものである。また、教育は保護者や地域の人々との連携がなくしては成立しないものなので、そのツールとしての重要な役割も果たすものである。

（３）教育実習に役立つ実践力の育成

１年次から４年次まで「人間教育実践力開発演習」が教育課程内に位置づけられている。

この科目は、学校に学生が出向き実際の教育活動への指導補助を通して、教員の仕事の意味や子ども理解の方法等を具体的に学ぶことを目的としている。１年次からのこの体験学習を通して、３年次または４年次で４週間の教育実習に全員の学生が安心感をもって出かける。教育実習前の事前準備として学校の様子に慣れ親しみ、児童・生徒の理解を深め、学生は教育実習に当たり精神的な不安感を減少させ意欲的に実習に取り組むことができる。

（４）各教科指導の模擬授業

２年次から３年次にかけて、各教科指導法の学習の多くが実施される。教科指導法は約４０人を１クラスとして全員が模擬授業を経験するようになる。模擬授業では、教材解釈から始まり板書や指導案の書き方も含め、学生が教師役と児童・生徒役等にわかれ、お互いの授業を評価し改善し合う。しかし、実際の授業においては、児童・生徒の発達段階に応じた好ましい学級経営が不可欠である。そのため、教育心理学や発達心理学の授業を通して、発達段階に応じた言葉がけや、児童・生徒一人ひとりへの対応方法を学ぶとともに、授業の方法技術を向上させることを狙いとする。

また、各教科以外の学校教育で必要な課題教育の講義も多く設定しているので、各教科の学習と関連付けながら教員志望者としての人間の幅を広げることが可能である。

（５）出口を意識したキャリア教育の実施

１年次から４年次までキャリア教育を実施している。キャリア教育の時間は１年次からスーツを着用して授業を受けたり、少人数に分かれて自己分析をしたり、卒業後の進路を強く意識し指導が行われている。３年次からは、卒業後の進路別の授業となる。大きくは教員志望者とその他の企業志望者に分かれ、さらに教員志望は幼稚園・小学校・中学校・高等学校に分かれ、その他の企業は、一般公務員、民間企業等に分かれる。これらの進路に合わせた細かい課外講座を準備している。課外講座は希望制であるが、出欠については、課題講座の担当者や専門ゼミナールの担任を通して指導をする。専門ゼミナールの教員は各自の卒業論文の指導はもちろん、社会人としての常識的なマナーや振る舞いができるように、出口を意識した指導をする。

（６）学生の授業への満足度向上のとりくみ

開かれた教育課程をめざしている。ハード面では、授業の教室の壁面をガラス張りにして、学生の学修状況が内部や外部の人々から観察できるようにしている。当初は学生の注意力が低下する等の反対意見もあったが、現在では定着し、かえって学生の良い緊張感となって学習効果を上げている。学生は、自分が履修していない科目でも、興味があれば自由に参観することができる。各教員も、いわゆるFD期間だけでなく、授業開講期間は、お互いの授業を自由に参観し交流できる。また、特定の授業科目を全教員で参観し、教授会後に授業研究会を開催し、教員の授業力向上に努めている。これは学生の授業への満足度向上に貢献している。

【保健医療学部】

＜教育目標＞

幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力をそなえ、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた質の高い保健医療職者の育成を目的とする。

＜ポリシー＞

（１）カリキュラムポリシー

①豊かな人間性や国際的感覚、汎用的能力を育むための科目を、１年次から４年次までを通して配する。

②看護専門職者として、対象となる個や集団を理解し、倫理的態度を基本に全人的看護ケアを実践する力を育むた

めの科目を段階的に配する。

③専門性を発揮しながら、多職種と協働できる力を育むための科目を配する。

④看護専門職者として自己研鑽できる力を育むための科目を配する。

(2) ディプロマポリシー

①国際的な視点を持ち、幅広い教養と豊かな人間性、変化に対応できる汎用的能力など確かな学士力を有することができる。

②看護職として個別的で多様な保健医療ニーズに倫理的配慮をもって応えることができる。

③人間愛に基づき「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、協調性などを備え、主体的に全人的ケアができる。

④学際性を培い、専門性を発揮しながら他職種と連携・協働し、チーム医療を推進することにより社会に貢献できる。

保健医療学部は、今後の社会の要請に応えるべく、高度化、複雑化、グローバル化する多様な保健医療ニーズに個別的に対応するため、幅広い教養と豊かな人間性、国際性、変化に対応できる汎用的能力など、確かな「学士力」を備え、「人」を中心に据えた専門的知識と高度な技術、創造力、実践力、倫理性、協調性などを身につけた、チーム医療の一員として、他職種と協働して人類・社会に貢献できる質の高い保健医療職者の育成を目的としている。

(1) リアルシュミレーション演習設備

「ICU実習室」を完備し、実践さながらの演習に取り組むことができる。充実したシュミレーションモデルを整備し、アセスメントから高度な手技、判断まで、最高水準のケア演習に取り組んでいる。

(2) 国家試験対策

1年次には「理解度確認試験」を、2年次には「低学年模試」を実施し、自己の課題を明らかにしている。3年次から国家試験対策を本格的にスタートさせ、4年次には、模擬試験を実施。集中対策講座を実施し、出願基準の変更点や模試の内容確認等の補講も実施する。

(3) 基礎演習（ラーニングスキルズ）を開講

1年次生が大学の学習に慣れ、4年間の大学生活を有意義に送るための基礎を習得することを目的とする「基礎演習」を開講している。大学での学習を進める上で必要となる基礎的な知識や技能、学ぶ姿勢を身につけることを目標とする。具体的には、講義ノートの取り方、文献資料の検索、学術的な文章の読み方、グループワークの進め方などについて、ゼミ形式の演習を通じて学習する。

(4) 臨地実習

臨地実習を通して患者理解と実践能力を高める。1. 2年次には基礎実習、3年次後期からは、領域実習を配置し、学生は、疾病を抱える人はもちろん、高齢者、病児、妊産婦など様々な患者と接していく中で、看護師としての支援を認識し、コミュニケーション能力や判断力など、現場で生きる看護力を養う。

(5) 国際看護研修

グローバルな視点で保健医療活動を行う基礎を養うことを目的としている。実際に赴き、現地の大学などで研修や医療現場を見学する中で、医療の現場を体感する。20時間の海外研修により、他国の看護教育、保険医療システム、エイズなどの感染症対策について学び、国際的視点から保健医療活動の実際を知る。

(6) 課程選択

「看護師課程」選択においては、看護の知識や技術をしっかり身に付けたうえで、国際理解に関する科目を履修することができ、国際的な視野に立って社会に貢献できる質の高い看護師を目指している。

「看護師・保健師課程」選択においては、20人が看護師に加えて保健師資格取得をめざし、さらに養護教諭二種免許状の取得も可能となっている。

「看護師・助産師課程」選択においては、女性のみ10人という少数精鋭で、確かな技術と知識だけでなく、妊産婦の心に寄り添える人間力を磨き、広い心を育むことを目的としている。

これらの課程の選択については、2年次終了時に学生に希望を聴取し、選考試験を実施する。選考試験には、

面接を含み、学生本人の意思が明確であることを確認する。

(7) GPA (Grade Point Average)の活用

本学では成績評価に加えて、GPA (Grade Point Average)を導入し、単位の修得だけでなく、質を重視することにより、学生が自主的・意欲的に学修し、自分の学修成果を正確に把握して、計画的な履修ができるようにしている。また、保健師課程、助産師課程の履修希望者選考基準の1つとしている。卒業時にはGPAの成績優秀者に対して、表彰を行う制度（「奈良学園大学学生表彰制度」）を整備しており、学長から表彰し、賞状と副賞を授与している。

【大学院看護学研究科看護学専攻】

看護実践に根ざした看護学研究の推進及び近年急速に変化・深化しつつある看護実践現場の質向上に繋がる質の高い高度な看護実践を支える教育・研究者及び指導者の養成を目指した教育課程を編成する。

教育理念に基づき、在宅看護、育成看護、精神看護分野における専門性を深め、国内外で活躍することができる高度な看護実践者と看護の各分野における実践的教育の担い手及び研究者を育成することを目的とする。

<ポリシー>

(1) カリキュラムポリシー

- ①看護学分野における高度な看護実践能力と教育研究能力を有する人材を育成するための教育課程を編成する。
- ②高度な看護実践能力と教育、研究の基盤となる専門的知識と学際性を備え、また、高い倫理観と国際性を養うため、基盤科目及び専門科目に区分した体系的な教育課程を編成する。
- ③基盤科目では、専門の学習の深化と発展につながる基礎的理論及び研究技法又は国際的視野に立脚した最新の知識と科学的根拠に基づいた理論の教授に重点を置いた講義、演習を行う。
- ④専門科目、研究科目として、講義、演習及び特別研究・課題研究を通し、高度な専門的能力を養成する科目を設置する。なお、CNSを履修するコースには資格認定のための必要な科目を設置する。
- ⑤主指導教員と副指導教員による複数の教員指導体制のもと、高度な看護実践に貢献できる論文又は課題研究の研究指導を行う。

(2) ディプロマポリシー

- ①各専門分野における諸理論に精通し、臨床現場で生じている課題を科学的、論理的に解決する方法を修得し、質の高い看護実践力を有している。
- ②臨床で生じている課題について、研究手法を用いて科学的に探究できる能力を有している。
- ③各専門分野において、臨床での看護実践を教育するための知識を有している。
- ④高い倫理観をもち、臨床で生じる倫理的問題に対して、適切に判断し、調整する方法を見出す力を有している。
- ⑤看護実践及び教育、研究について、国際的視野をもち、保健医療チームにおけるリーダーとして、他のメンバーを尊重し、協働や連携を促進できるマネジメント力を有している。

(1) CNSを履修するコース（精神看護専攻教育課程）

地域のニーズに応え、かつ、設置理念にある高い専門性と総合的な視野をもち、独創性・指導性を発揮できる人材を育成し、種々の社会的要請に応えるため、本大学院看護学研究科看護学専攻（修士課程）に、「精神看護学の修士論文コースとCNSを履修するコース」を設置している。

精神科CNSが、看護師だけでなく、多職種専門家のコンサルテーション、倫理調整、住民も含めた教育、そして研究活動を実践することが、奈良県の住民の精神保健に寄与し、安心して暮らせる地域社会の形成を促進する力になると考える。

(2) 教育課程の編成

本研究科は、看護実践に根ざした看護学研究の推進及び近年急速に変化・深化しつつある看護実践現場の質向上に繋がる質の高い高度な看護実践を支える教育・研究者及び指導者の養成を目指した教育課程を編成している。

教育課程は「基盤科目」「専門科目」「研究科目」から構成する。

「基盤科目」においては専門科目の基礎として、専門の学習への進化と発展に繋がる関連諸科学の理論や技法を学ぶ。関連諸科学の理論や技法を学び、専門科目の基盤として、看護学に関する専門的知識・技術を修得し、国際感覚を身に付け、変化する社会に対し高いヒューマンケアの実践能力、専門知識と技術を備えた指導・調整能力を養うことができる科目を配置している。具体的には、高い倫理観を育て社会変化に対応できる深い洞察力をもち、実践現場指導者との協働能力を高めるため、「国際医療特論」「国際看護特論」「看護倫理特論」「コンサルテーション論」「看護教育学特論」を配置する。さらに、看護学に関する成果を進化・発展させ社会の人々のニーズに応えることができる能力を育てるため、「ヘルスプロモーション特論」「看護理論特論」「看護管理学特論」「臨床薬理学」「病態生理学」「フィジカルアセスメント」「看護研究特論」を配置する。また、国内外の国外で活躍する人材養成について、コミュニケーションとしての英語力や海外の専門的知識が必要であることから、特に「国際医療特論」「国際看護特論」を配置し、将来海外で看護師、看護研究者として活躍する人材養成をおこない、加えて、現在奈良県に在住している外国人や外国人観光客の心身の健康を維持し、必要なサービスを提供する人材を育成する。

「専門科目」は「在宅看護学」「育成看護学」「精神看護学」の3分野で編成し、講義科目及び演習科目を系統的に履修し、看護学の視点から保健医療の発展に必要な課題を探索し、その課題に対して主体的に研究計画の立案、調査、実験、分析ができる能力を身に付けるためのコースワークを整備している。

在宅看護学分野は、老年看護学を基盤に在宅看護と訪問看護及び慢性期看護の分野を統合し、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を目的にする地域包括ケアにおける看護について探究する分野とする。

育成看護学分野は、母性・女性看護学と小児看護学の分野を統合し、親になる準備段階にある思春期から周産期、子育て期、そして生まれてきた子どもの小児期の看護について探究する分野とする。

精神看護学分野は、入院精神医療と地域精神医療の場で国際的視野と高い倫理観を備えて高度な看護実践を提供し、併せて、看護職者や多職種のコンサルテーション、組織のマネジメント、教育、研究、精神医療の場で生じる倫理的な課題をトラウマインフォームドケアの視点で解決する能力を修得する分野とする。

各分野に関連する基礎的要素を修得し、看護学の視点から保健医療の発展に必要な課題を探索し、その課題に対して主体的に研究計画の立案と調査・実験、そして分析ができる能力を身に付けることができるよう編成する。

基盤科目を基礎として、学生がいずれかの分野で研究と実践に必要な理論と技術、実践力を修得するため、分野ごとに演習及び特論演習を設ける。演習科目では、国内外の文献検索と文献クリティーク、グループワーク等により諸外国を含めた各専門分野の実践における現状の理解と課題の発見、探究を行う。これらを体系的に学習することにより、学生は各専門分野及び関連の深い周辺の学問領域の実践について熟知し、専門分野における課題の発見、研究計画の立案と実施、そして結果の分析能力を修得する。なお、実習科目はそれぞれの課題解決に向けて臨地での実習を行う。

「研究科目」は、将来質の高い高度な看護実践を支える教育・研究者及び指導者を目指す者のために配置し、「特別研究」は、文献レビューやフィールドに出ながら、当該領域・分野における重要な課題を明らかにし、各自で探究すべき課題を選定する。

当該専門分野における重要な課題を探究し、新しい知見を導き出し、研究論文を作成し発表することにより、各専門分野の発展に資する研究を実践する。

「課題研究」は、CNS必修科目及び共通選択科目の学習を元に、CNSを履修するコースで定めた履修科目等で学習した内容から、看護実践の中で生じる課題を抽出し、精神科CNSとして必要な実践能力に焦点を当てて実証的に研究を行う科目として配置した。学習内容の中から、精神科CNSの実践の中で生じる課題を抽出し、研究テーマにふさわしい知見を得て、リサーチペーパーとしてまとめる。

(3) 大学院設置基準第14条による教育方法の特例等の実施

社会人のキャリア教育及び生涯学習ニーズに応え、仕事を持つ社会人の学生（以下、「社会人学生」という。）などが勤務を継続しながら、大学院で学修することができる環境を提供するため、本学研究科において大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を実施する。

昼夜開講制を導入して、看護の臨床経験がある有識者等を含めた多様な学生が互いに研鑽し合う環境を設けることにより、本研究科の設置趣旨の実現に努める。

具体的には、社会人に広く門戸を開放するために、履修者の科目選択の自由度を高め、授業時間を月曜日から金曜日の夜間、及び土曜日の昼夜に開講するいわゆる昼夜開講制を採用する。

大学院生が利用する研究室や演習室の利用については、7時30分から21時30分まで利用が可能となるよう対応

している。また、社会人入学生が無理なく受講できるように夜間の授業(6時限 18:00～19:30、7時限 19:40～21:10)を開講し、夏期・冬期休暇中にも集中講義を行い、教育・研究指導を受けることなどにも対応する。

また、現有職者が現在の職と修学を時間的に無理なく両立できるよう、修業年限2年の他に、3年の長期履修制度も導入している。

1.1. 社会貢献に関する情報

平成29年度、社会連携センターが組織編成されて4年目となり、昨年の事業を踏まえ、成功点と、改善点と考察し、より良い事業の企画立案を試みた。

一般市民向け公開講座においては、昨年度総括にて「幅広い層の方々に対して本学の知的資源を提供することを目的とし、従来の方針に立ち返り実施していくことが確認されている。この点に基づき今年度「り～べるカレッジ」「登美ヶ丘カレッジ」を開催した。また、昨年と同様、関西文化学術研究都市推進機構との連携で、けいはんな学研都市7大学連携「市民公開講座2017」への参画と、「けいはんなビジネスメッセ」に出展し、保健医療学部と共催している、「超高齢化社会における生活支援にむけた地域産業創出を考える研究会」のブースに於いて、本学で行われている研究を端緒に研究の取り組みと教育に対する姿勢を紹介することが出来た。さらに、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構と共催し、超高齢化社会における生活支援に向けた地域産業創出を考える研究会の講演会を実施した。

専門職向け公開講座においては、昨年度の「学校安全対策」に代わって、「明日から使える！学内での急変・救急時の対処法」と題し、保・幼・小・中・高・特別支援学校の教員を対象とした講座を開催した。

地域貢献においては、地域住民との交流として、三郷キャンパスに於いて「お花見・夜景観賞&花火会」「七夕・流しそうめん」を開催した。また、昨年同様、三郷町産官学地域活性化連絡協議会と連携して「ひまわり植生事業」「町民文化祭出展」「イルミネーション事業」「まちづくり事業」を実施した。さらに「けいはんなは子ども天文クラブ」実施など積極的に地域との連携を図った。以下に本年度実施事業における問題点を分析し、総括を行う。

1. 平成29年度 社会連携センター事業 分析

平成29年度、社会連携センター事業を遂行するにあたり以下の問題意識について分析を行う。

- ① 社会連携センター事業が、センターとして取り組むべき事業として適切であったのか。
- ② 社会連携センター事業が、「地域貢献」に資する事業として適切であったのか。
- ③ 社会連携センター事業が、地域連携として発展していく可能性があったのか。

この3つの点について、個々の事業別に分析を行う。

2. 一般市民向け公開講座

幅広い層の方々に対して、本学の知的資源を提供することと、認知度の向上を目指し開催した。以下、講座別に分析を行う。

2-1 り～べるカレッジ

この事業は、昨年度に引き続き、王寺町地域交流センターと共催し、地域住民への生涯教育推進とともに、幅広い層をターゲットとした本学認知度の向上を目的に広報戦略を展開した。第1回り～べるカレッジでは、前年度も好評であった芸術・趣味の分野に関係した「音楽」をテーマに、特別企画「和と輪のコンサート」を設定し、当日は予想を上回る330名の受講者を迎えることとなった。また、第2回り～べるカレッジでは、「音楽」をテーマに開催したところ、第1回の講座の集客効果もあり、ほぼ満席となり、結果を残すことができた。第3回についてもある程度の受講者があり、今年度の公開講座は成功裏に終わった。

来年度開催においても、音楽系のコンサート形式のものを位置づけて、2回目に座学系を配置することは集客上、踏襲できると推測する。さらに、来年度以降の、り～べるカレッジは来場者のアンケートの集計結果から内容を、ワークショップ形式に変え、王寺町教育委員会等、関係機関との協働で行うことが最善の策ではないかと推測する。問題点として参加者の大半を老年層が占めていることが挙げられるが、講座内容を人間教育学部の特性を生かした、子育て世代が参加できる企画としていくことで改善できるのではと考える。

り～べるカレッジ講座

開催日	講座内容・講師	受講者数
第1回 平成29年6月4日	内容：「和&輪コンサート」～歌い継ぐ「日本の心の歌」～ 講師：人間教育学部 瀧明准教授	330名

第2回 平成29年7月8日	内容：音楽を活かしたまちづくり ～創造都市の視点から～ 講師：人間教育学部 瀧明准教授	53名
第3回 平成28年7月22日	内容：「古典に親しむ」～「古事記」の朗読・現代語訳と解説～ 講師：人間教育学部 渡邊教授	21名

2-2 登美ヶ丘カレッジ

この事業は、奈良学園大学登美ヶ丘キャンパスの認知度の向上、周辺地域の貢献を目的として開催した。本年度は、本学保健医療学部辻下教授が講師となり、ゲストスピーカーに甲南女子大学西上准教授を招き実施したが、参加者が少なく、講座の目的を達成することは出来なかった。今後、本学保健医療学部の研究シーズを地域に公開し、地域の方々の健康増進、あるいは、疾病予防等に貢献していくことに着眼して開催していくことの必要性を感じる。

登美ヶ丘カレッジ講座

開催日	講座名	受講者数
平成29年 12月16日	「最新痛みのリハビリテーション」 ～痛みの病態に応じたケアを考える～ 講師：辻下教授 前田助手 ゲストスピーカー 甲南女子大学准教授 西上智彦氏	15名

2-3 けいはんな学研都市7大学連携「市民公開講座2017」

この事業は、関西文化学術研究都市（けいはんな学研都市）に立地している6大学（奈良先端科学技術大学院大学、同志社大学、同志社女子大学、大阪電気通信大学、関西外国語大学、大阪国際大学）の共同企画によって、平成12年より毎年秋に一般市民向けの公開講座としてスタートした。

本年度は、一般の方により親しみやすい名称「けいはんな学研都市7大学連携『市民公開講座2017』」と称して、奈良先端科学技術大学院大学、同志社大学、同志社女子大学、大阪電気通信大学、関西外国語大学、京都府立大学を加え、奈良学園大学の構成により国立国会図書館関西館で開催された。本学は、「サイバー・マインドフルネス（瞑想）～バイオフィードバックの世界～」と題し、社会連携センター長保健医療学部辻下教授による講座を提供した。受講者は約200人、盛況であり、来年度も引き続き参画を予定している。

2-4 けいはんな推進機構事業

2-4-1 けいはんなビジネスメッセへの出展

この事業は、平成26年度より、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構との連携で行っている事業である。本年度は、本学保健医療学部が共催している奈良県学研都市研究成果活用支援事業として「超高齢化社会における生活支援に向けた地域産業創出を考える研究会」の事業紹介の中で、奈良学園大学保健医療学部の研究の一端をパネル展示することにより、本学が社会資源として地域貢献を行っていることを紹介した。また、今年は育英西高等学校が、授業の一環で来場していたので、本学のパンフレットを渡して紹介を行った。

平成29年10月26日（木）～10月27日（金）実施

けいはんな推進機構本年度事業

- ① 本年度1回の講演会開催（3ヵ年で8回の講演会を実施予定）
- ② マッチング情報誌の更新
- ③ 展示会への出展
- ④ 大手企業の見学会、交流会の実施
- ⑤ 補助金、助成金に関する情報の提供

2-4-2 超高齢化社会における生活支援に向けた地域産業創出を考える研究会

奈良県の高齢化社会の課題に対し、高齢者を支援する人・機関・地域社会との情報交換から得られる課題・要望（ニーズ）と周辺地域の研究機関・大学・企業の研究開発成果（シーズ）とを奈良県の産業界や企業及び新規企業を目指す個人等を対象に提供し、そこに生まれる新事業の芽を育成支援することを目的としている。辻下センター長が、この研究会のメンバーとなっており、本学からの情報発信を行っている。

2-4-3 講演会の実施

開催日	講座名	受講者数
平成 29 年 6 月 27 日 於：奈良学園大学	超高齢化社会を考える研究会（略）第 7 回講演会 基調講演：畿央大学 大学院健康科学研究科研究科長 金子 章道 教授	約 60 名

超高齢化社会を考える研究会（略）の組織で、関西文化学術研究都市推進機構の常務理事を会長、運営委員長を本学保健医療学部長、運営委員は奈良県産業振興総合センター、南都経済研究所、関西文化学術研究都市推進機構ヘルスケア事業部とし、事務局長のもと事務局に本学社会連携センターが関わり、講演会を実施した。この講演会は基調講演、ニーズ紹介、シーズ紹介を行って、企業・起業の創出の機会となっている。今後、企業間のマッチングを踏まえて、この研究会の運営により産官学の連携強化を図り、地域貢献に繋げていく予定である。

3. 専門職向け公開講座

開催日	講座名	受講者数
平成 29 年 7 月 11 日 於：登美ヶ丘キャンパス	「明日から使える！学内での急変・救急時の対処法」 内容：救急蘇生法、アナフィラキシーショック・ 熱中症遭遇時の初期対応 講師：松浦 純平 氏（保健医療学部 准教授）	23 名

この事業は、昨年に引き続き、奈良県教育研究所の実施協力依頼より「平成 29 年度 夏季講座」として登美ヶ丘キャンパスで実施した。広報については 短期大学部の協力も得て、奈良学園内の各キャンパスの担当者を初め、保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・行政等の幅広い層からの参加者があり、充実した講座となった。参加者は 23 名で、大変好評であったため、来年度も引き続き実施していきたい。

4. 地域貢献

4-1 地域振興

(1) 三郷キャンパス地域交流

昨年に引き続き、奈良学園大学三郷キャンパスの行事として、お花見、夜景観賞・花火会、七夕・そうめん流しを行った。本年度も、地域住民を初め多数の参加があり賑わいを見せていた。来年度も引き続き三郷キャンパスの行事として計画していきたい。

イベント	実施日	参加者数
お花見	4 月 1 日	80 人
七夕・そうめん流し	7 月 8 日	500 人
夜景観賞・花火大会	7 月 27 日	150 人

(2) ベースボールクリニック

昨年に引き続き、奈良学園大学三郷キャンパスの行事として行った。本年度は講師として、中日ドラゴンズの吉田利一選手、パナソニック野球部の庄司力也選手と鈴木佳佑選手を招聘。本学学生から、ドラフトにより東京ヤクルトスワローズに入団が決定した宮本文選手、読売ジャイアンツに入団が決定した村上海斗選手参加して行われた。5 班に分けた中学生に、順番にバッティングや内野ノック、走塁などの指導を行い、野球を通して地域に貢献すると共に奈良学園大学の周知を図ることができた。

4-2 産官学連携

昨年度と同様、(産) 三郷町商工会、(官) 三郷町役場、(学) 奈良学園大学、奈良県立西和清陵高等学校の 4 団体で構成する三郷町産官学地域活性化連絡協議会と連携し、事業を展開した。

本年度事業としては、「ひまわり植生事業」「町民文化祭出展」「イルミネーション事業」「まちづくり事業」と 4 事業を実施した。

(1) 「ひまわり植生事業（観光振興）」

この事業は、昨年度に引き続き三郷町の町花である「ひまわり」を植生し、観光振興のため長期事業として行っている。しかしながら今年度は、不安定な気象状況のため発芽しない結果となり、この事業を展開するには至らなかった。今回の反省から、地域住民への植生協力の方法や、開花後の事業展開等を視野に入れた PR について検討し、次年度からは町民主導で展開していきたいとした。

(2) 「町民文化祭出展」

「風の郷 龍田古道」を観光名所として全国的に広く PR することを目的として作成されたポスターの掲示、町制 50 周年記念ビデオの上映などの、町民文化祭における三郷町事業への協力を行った。

(3) 「イルミネーション事業（地域防犯）」

この事業は、地域の駅前と、大和川にかかる橋をイルミネーションで飾り付け、駅前の活性化と地域防犯を目的としている。以前より、奈良県立西和清陵高等学校開校 10 周年記念として近鉄信貴山下駅前、奈良学園大学開設記念として JR 三郷駅前、一昨年度は、大和川にかかる「多聞橋」、昨年度は、三郷町町制 50 周年事業として大和川にかかる「若草橋」をイルミネーションで飾り付け、明るくしている。本年度は消耗している部分をリニューアルした。また、飾り付け作業に、ボランティア論の授業の一環で、本学学生が参加した。来年度以降も継続して点灯する予定であるため、協力していきたい。

(4) 地域雇用創出のための「地方創生事業（まちづくりワーキング）」

開催日	内容
平成 29 年 5 月 15 日	5/31 定例会資料の作成・確認
平成 29 年 7 月 31 日	ポスターの作成/観光受入体制/ルートマップ作成
平成 29 年 8 月 30 日	ポスターの作成/観光受入体制/ルートマップ作成
平成 29 年 9 月 26 日	ポスター完成・配布/情報発信について/ルート整備 会則について/次年度事業計画
平成 29 年 10 月 24 日	情報発信（フェイスブック）/次年度予算
平成 29 年 11 月 28 日	三郷町文化祭での活動報告/Web 発信（三郷町 HP とリンク）/事業計画
平成 29 年 12 月 19 日	収益事業/他団体の参画
平成 30 年 1 月 30 日	広報活動等進捗状況報告/新規会員の募集について
平成 30 年 2 月 27 日	龍田古道清掃（2/22 大学協力）/マップ作成/イベント活動報告/SNS 作成/絵本作成
平成 30 年 3 月 27 日	県の「まちあるきマップ」作成申込みについて/インスタグラムによる情報発信について/県内各種イベント（ミュージックフェストなら他）参加について/図書館での写真展について/その他

この事業は、住民が中心となり、「風の郷 龍田古道」を観光名所として PR し、地域活性化および収益事業へと発展させることを目的に活動を行っている。本学は、三郷町産官学地域活性化連絡協議会の構成員としてその活動に協力し、地域貢献を図っている。

4-3 斑鳩町連携・三宅町連携

三宅町との連携については、平成 28 年 6 月以降、講演に出向くなどして連携をはかっている。今年度については、講演の依頼がなかったため、実績はなかった。また、斑鳩町との連携については、平成 28 年 12 月、いかるがホールにおける「斑鳩町内三園合同のクリスマス会」への企画運営依頼があり、先生方の指導のもと本学学生が参加をした。今年度についても、同依頼があったが、人間教育学部として対応したため、社会連携センター事業としての地域貢献ではなかった。

また、上記とは別に 平成 29 年 7 月 1 日に「生き生きプラザ斑鳩開館 10 周年記念イベント」が、斑鳩町立総合保健福祉会館生き生きプラザ斑鳩にて開催された。本学と斑鳩町は、2015 年に連携協力協定を結んでおり、本イベントでは本学社会連携センター長である辻下守弘教授により「生き生き百歳体操の効果と方法について」と題する特別講習が小城斑鳩町町を初め町民の方々の参加を得て実施された。

4-4 その他

「けいはんな子ども天文クラブ」後援

概要

けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-SCAN）は、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構や精華町が中心となって、2014 年 9 月に設立した組織である。科学、技術、文化など、さまざまな分野の立地施設が集積する「けいはんな学研都市」の特色を生かし、未来を担う子どもたちに科学を中心とした多様な学びの機会を提供する取り組みを進めている。「けいはんな科学体験プログラム」は、主に小学生を対象とした体験型の教育プログラムである。この講座は、独立行政法人国立青少年教育振興機構平成 29 年度「子どもゆめ基金（子どもの体験活動助成）」の助成を受け、「けいはんな科学体験プログラム」の一講座として開催された。

開催日 (開催場所)	内容	参加人数
平成 29 年 8 月 26 日 (KICK) 平成 29 年 8 月 30 日 (奈良学園小学校)	第 1 回「天体望遠鏡を作ろう」 講師：保健医療学部准教授 嶋田理博 氏 (参加者を分けて、同一内容で 2 回実施)	70+74
平成 29 年 9 月 2 日 (KICK)	第 2 回「月・土星を観測しよう」 講師：保健医療学部准教授 嶋田理博 氏	147
平成 29 年 10 月 7 日 (KICK)	第 3 回「星雲・星団・二重星を観測しよう」 講師：保健医療学部准教授 嶋田理博 氏	96
平成 29 年 12 月 12 日 (KICK)	第 4 回「流れ星を観測しようⅠ」 講師：保健医療学部准教授 嶋田理博 氏	33
平成 29 年 12 月 13 日 (奈良学園小学校)	第 5 回「流れ星を観測しようⅡ」 講師：保健医療学部准教授 嶋田理博 氏	55

※「KICK」=けいはんなオープンイノベーションセンター

本年度、けいはんな子ども天文クラブの活動は「手作り天体望遠鏡で星を見よう」と題し、口径 4cm の天体望遠鏡キットの組立工作から始め、その望遠鏡を用いて初心者でも観測が容易な月、土星などから明るい星雲・星団を対象とした観測までを行う全 4 回の講座を開催した。引き続き、12 月は「流れ星を観測しよう」と題して「ふたご座流星群」の観測を行う 2 回の講座を開催した。12/12 を除き、天候にも恵まれ、予定通り望遠鏡製作と天体観測、流星群の観測を実施することができた。

参加者アンケートの回答では、

- ・この活動が 「とても楽しかった」 70%、「まあまあ楽しかった」 29%
- ・宇宙や科学に 「更に興味を持った」 53%、「少し興味を持った」 40%
- ・再度この活動に 「積極的に参加したい」 64%、「機会があれば参加したい」 34%

という高い評価が得られた。また、熱心に取り組む参加者も多く、自宅での観測含め計 37 点の天体観察記録の提出があった。宇宙への関心を高めるきっかけとして本企画は成功したと考える。

写真やテレビでなく望遠鏡で直接月や惑星、星雲・星団を観測する体験は、宇宙や科学に興味を持ち、関心を深める大きなきっかけとなった。来年度も引き続き後援を行う予定である。

全体総括

本年度、社会連携センター事業は、昨年の事業の成功点と改善点の考察を踏まえ遂行した。事業の基本方針は、従来の方針に立ち返り、昨年同様に幅広い方々に対して、本学の知的資源を提供することとした。り～べるカレッジにおいては、音楽教育と音楽に内在する力を活かし、特別企画としてコンサートを実施したことは、より本学の認知度

の向上に繋がった。登美ヶ丘カレッジにおいても、学部特性を活かした講座を展開したが、集客数低く改善の余地があると考えられる。しかしながら、「けいはんなビジネスメッセ」への出展、保健医療学部が共催する「超高齢化社会における生活支援に向けた地域産業創出を考える研究会」の本学での講演会実施など、社会連携センターとしての役割は十分に果たせていると思う。今後、本学人間教育学部、保健医療学部の研究シーズを地域に公開し、なお一層地域の方々に、教育支援、あるいは、健康増進に貢献していく必要性を感じている。

専門職向け公開講座は、昨年度の総括を反映させて、興味を持つようなテーマ設定とした。このことに限定はできないが、本学園の教職員はもとより、保育所、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、大学、行政機関等の幅広い層からの参加者を得て、23名の参加者となった。今後も、学校園の先生方が興味を持つようなテーマ設定が必要であろう。

公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構・超高齢化社会における生活支援に向けた地域産業創出を考える研究会と連携・共催した公開講座は、一定の成果を上げたとして、来年度は企業間のマッチングを計画する予定である。

地域振興は、三郷キャンパスの行事として、お花見、七夕・そうめん流し、夜景観賞・花火会、ベースボールクリニックを行い、地域住民を初め多数の参加があり賑わいを見せていた。また、けいはんな子ども天文クラブの後援を行い、これらの事業は、本学の認知度の向上に繋がった。年度末には、事業とは別に王寺町主催「王寺マルシェ」について、人間教育学部の学生参加を支援した。今後も引き続き連携し、事業を展開していきたいと考えている。

産官学連携は、昨年と同様、三郷町産官学地域活性化連絡協議会と連携し、事業を展開した。本年度は、「ひまわり植生事業」、「イルミネーション事業」、「町民文化祭出展」、「まちづくり事業」と4事業を行った。特に、まちづくり事業においては、昨年度から発展させて「風の郷 龍田古道プロジェクト」を町民中心に推進している。

産学連携は、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構との連携で、「けいはんなビジネスメッセ」と「情報フェア」を同時開催し、本学は「けいはんなビジネスメッセ」に出展を行った。また、けいはんな子ども天文クラブの後援を行った。これらの事業は、本学の認知度の向上に繋がった。今後も引き続き連携し、事業を展開する。

社会連携センター全体としては、地域連携活動の基礎を固める事業に発展している。これら一つ一つの活動の積み重ねが、本学のみならず学園全体の信用と信頼につながるものであり、直接・間接の社会貢献は、奈良学園大学社会連携センターが地域に必要な社会資源として地域貢献に資することであると考えられる。

12. 国際交流に関する情報

平成30年度奈良学園大学海外提携協定校一覧

○大学間協定校						
学校名	蘇州科技大学	黒龍江東方学院	長江大学	三峡大学	青島理工大学琴島学院	
学校名 (英語表記)	Suzhou University of Science and Technology	East University of Heilongjiang	Yangtze University	Chine Three Gorges University	Qingdao Technology University Qindao College	
国・地域	中華人民共和国	中華人民共和国	中華人民共和国	中華人民共和国	中華人民共和国	
学校名	香港城市大学専上学院	屏東科技大学	カンボジアメコン大学	スーパトゥム大学	ダナン大学	東亜大学校
学校名 (英語表記)	Community College of City University	National Pingtung University of Science and Technology	Cambodian Mekong University	Sripatum University	The University of Da Nang	Dong-A University
国・地域	中華人民共和国・香港	中華民国・台湾	カンボジア王国	タイ王国	ベトナム社会主義共和国	大韓民国
○学部間協定校(保健医療学部)						
学校名	マハサラカム大学					
学校名 (英語表記)	Maharakham University					
学部名 (英語表記)	Faculty of Nursing					
国・地域	タイ王国					

平成 29 年度海外受入派遣事業実績

		H29年度(実績)				
行事	種別	期間	対象			学生人数
中国交換留学・ 青島理工大学 琴島学院 (中国・青島)	派遣	10日間	本学学生	人間教育学部 保健医療学部	1名 4名	5名
東アジア文化 交流研修・ 東亜大学校 (韓国・釜山)	派遣	3日間	本学学生	人間教育学部 保健医療学部	6名 2名	8名 + 特別聴講生17 名
カンボジア短期研修・ カンボジアメコン大学 (カンボジア)	派遣	11日間	本学学生	人間教育学部	9名	9名
ハワイ看護研修 ※保健医療学部の学生のみ	派遣	10日間	本学学生	保健医療学部	3名	3名
カナダ語学研修 ※人間教育学部の学生のみ	派遣	14日間	本学学生	人間教育学部	7名	7名
チェンマイ大学看護研修 ※保健医療学部の学生のみ	派遣	7日間	本学学生	保健医療学部	7名	7名